

第2次札幌市まちづくり戦略ビジョン策定に伴う 市民アンケート調査

報 告 書

令和3年10月

札 幌 市

目 次

I. 調査概要

1. 調査の目的.....	2
2. 調査の概要.....	2
3. 配布数及び回答者数.....	2
4. 凡例及び注記.....	2

II. 調査結果

1. 回答者の属性.....	5
2. 集計結果	
札幌市のまちづくりの取組に対する充実度・重要度.....	6
分野1 地域.....	6
基本目標① 共生と交流により人と人がつながるまちにします.....	6
基本目標② 様々な担い手が地域のまちづくり活動に参加するまちにします.....	8
基本目標③ 多様な地域課題を解決できるまちにします.....	8
分野1「地域」の総合的な取組状況.....	8
分野2 経済.....	10
基本目標④ 強みを生かした産業が経済をけん引するまちにします.....	10
基本目標⑤ 様々な連携により産業が高度化するまちにします.....	12
基本目標⑥ 市民の雇用が安定的に確保されるまちにします.....	12
基本目標⑦ 強みを生かし世界とつながるまちにします.....	14
基本目標⑧ 地域コミュニティを支える産業を大切にするまちにします.....	14
分野2「経済」の総合的な取組状況.....	16
分野3 子ども・若者.....	18
基本目標⑨ 安心して子どもを生み育てられるまちにします.....	18
基本目標⑩ 将来を担う子どもの成長と自立を支えるまちにします.....	18
基本目標⑪ 若者が社会的に自立し活躍できるまちにします.....	20
分野3「子ども・若者」の総合的な取組状況.....	20
分野4 安全・安心.....	22
基本目標⑫ 誰もが健康的に暮らせるまちにします.....	22
基本目標⑬ 地域防災力が高く災害に強いまちにします.....	24
基本目標⑭ 安全な日常生活が送れるまちにします.....	24
分野4「安全・安心」の総合的な取組状況.....	28
分野5 環境.....	30
基本目標⑮ 豊かな自然と共生するまちにします.....	30
基本目標⑯ 資源やエネルギーを有効活用するまちにします.....	30

基本目標⑰ 市民が環境について学び行動するまちにします	32
分野 5「環境」の総合的な取組状況	32
分野 6 文化	34
基本目標⑱ 創造的な活動により活力あふれるまちにします	34
基本目標⑲ 文化芸術やスポーツの魅力により にぎわいが生まれるまちにします	34
基本目標⑳ 市民一人一人が魅力を再認識し発信するまちにします	36
分野 6「文化」の総合的な取組状況	36
分野 7 都市空間	38
基本目標㉑ 公共交通を中心とした集約型のまちにします	38
基本目標㉒ 札幌の顔となる魅力と活力あふれる都心にします	40
基本目標㉓ 都市の価値を高めるみどりを生かしたまちにします	40
基本目標㉔ 都市基盤が適切に維持・保全されるまちにします	40
分野 7「都市空間」の総合的な取組状況	42
3. 相関図	44
4. 札幌市のまちづくりについての意見	54

Ⅲ. 参考資料

1. 集計表	73
2. アンケート調査票	224

I 調 査 概 要

I 調査概要

1. 調査の目的

札幌市が新しい時代に対応したまちづくりを総合的・計画的かつ速やかに進めていくための「第2次札幌市まちづくり戦略ビジョン」策定に向け、基礎資料として活用することを目的に実施した。

2. 調査の概要

(1) 調査期間

令和3年8月3日（火）※発送 ～ 8月19日（木）※投函期限

(2) 調査対象者

18～75歳の札幌市民から各区分・年代別ごとに無作為に抽出した合計1万人

(3) 調査方法

調査対象者にアンケートを送付し、郵送またはwebフォームにて回答を求めた

3. 配布数及び回答数

配布数：10,000通 / 有効回答数：2,273通（回答率：22.7%）

4. 凡例及び注記

○表記の割合（%）は選択肢ごとに少数点第二位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

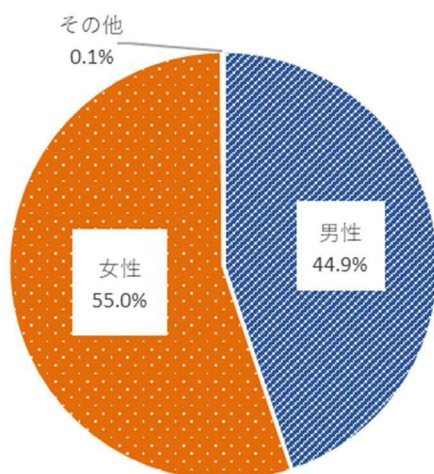
○N：サンプル数。

Ⅱ 調 査 結 果

II 調査結果

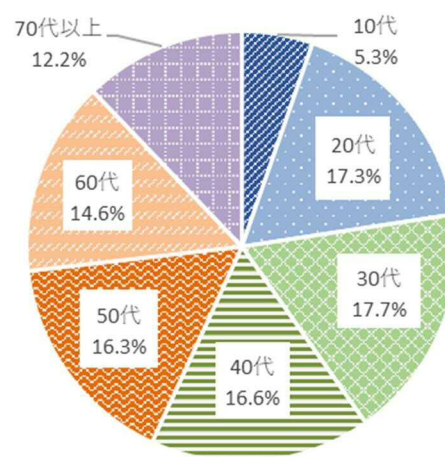
1. 回答者の属性

(1) 性別



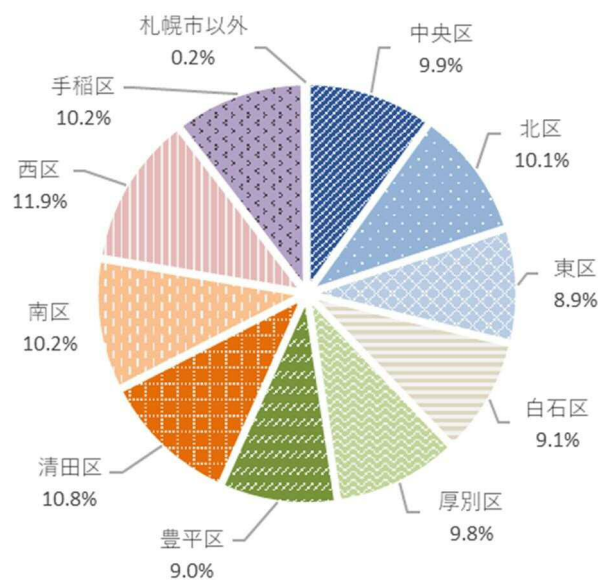
n=2. 178

(2) 年齢



n=2. 253

(3) 居住地



n=2. 245

2. 単純集計結果

問1. 札幌市のまちづくりの取組についての充実度・重要度について

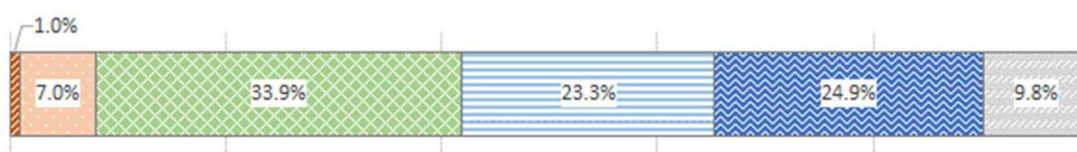
分野1. 地域 ～地域での支え合いとつながりづくり～

【現在までの充実度】

■ 高い
 ■ やや高い
 ■ 普通
 ■ やや低い
 ■ 低い
 ■ わからない

基本目標① 共生と交流により人と人がつながるまちにします

1. 住民同士の助け合い・支え合いが活発である



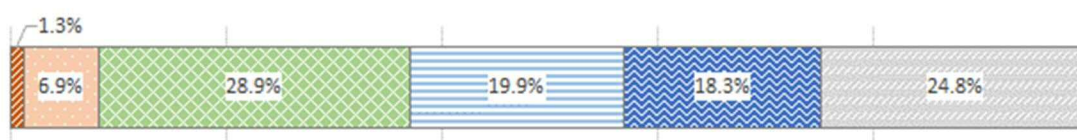
2. 地域において、子どもから高齢者までの多世代間の交流が活発である



3. 男性も女性も社会の対等な構成員として、自らの意思によってあらゆる分野の活動に参画する機会が確保されている



4. 様々な国籍や民族の人々が、国や文化の違いにかかわらずお互いに認め合う「多文化共生」の意識が醸成されている



【今後の重要度】

■ 高い
 ■ やや高い
 ■ 普通
 ■ やや低い
 ■ 低い
 ■ わからない

基本目標① 共生と交流により人と人がつながるまちにします

1. 住民同士の助け合い・支え合いが活発である



2. 地域において、子どもから高齢者までの多世代間の交流が活発である



3. 男性も女性も社会の対等な構成員として、自らの意思によってあらゆる分野の活動に参画する機会が確保されている



4. 様々な国籍や民族の人々が、国や文化の違いにかかわらずお互いに認め合う「多文化共生」の意識が醸成されている

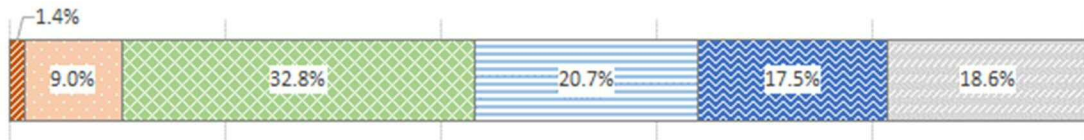


【現在までの充実度】

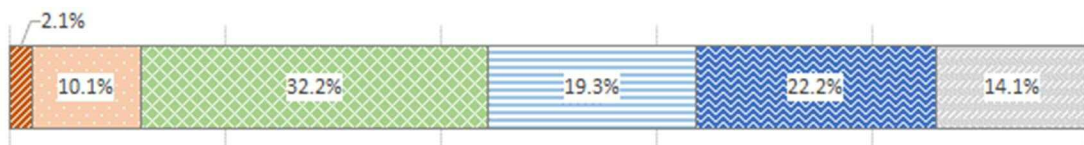
■ 高い
 ■ やや高い
 ■ 普通
 ■ やや低い
 ■ 低い
 ■ わからない

基本目標② 様々な担い手が地域のまちづくり活動に参加するまちにします

1. ボランティア・市民活動に参加しやすい環境が整っており、活動が活発に行われている

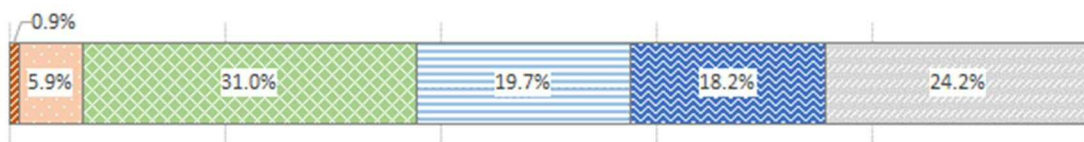


2. 地域住民が町内会・自治会に参加し、まちづくり活動が活発に行われている



基本目標③ 多様な地域課題を解決できるまちにします

1. 町内会や市民活動団体、行政や企業等、様々な団体により地域の課題解決に向けた活動が行われている



分野 1 「地域」の総合的な取組状況



【今後の重要度】

■ 高い
 ■ やや高い
 ■ 普通
 ■ やや低い
 ■ 低い
 ■ わからない

基本目標② 様々な担い手が地域のまちづくり活動に参加するまちにします

1. ボランティア・市民活動に参加しやすい環境が整っており、活動が活発に行われている



2. 地域住民が町内会・自治会に参加し、まちづくり活動が活発に行われている



基本目標③ 多様な地域課題を解決できるまちにします

1. 町内会や市民活動団体、行政や企業等、様々な団体により地域の課題解決に向けた活動が行われている



分野1「地域」の総合的な取組状況



『分野1 地域』の充実度では、「地域において、子どもから高齢者までの多世代間の交流が活発である」で「やや低い」「低い」が合わせて57.8%で、他の項目より充実度が低くなっている。

重要度については、「住民同士の助け合い・支え合いが活発である」が「高い」「やや高い」を合わせると50.6%で、最も高くなっている。「総合的な取組状況」でみると「高い」「やや高い」が高い結果であるが、「普通」も40%前後と比較的高い傾向がみられる。

分野２．経済 ～暮らしと雇用を支える経済の発展～

【現在までの充実度】

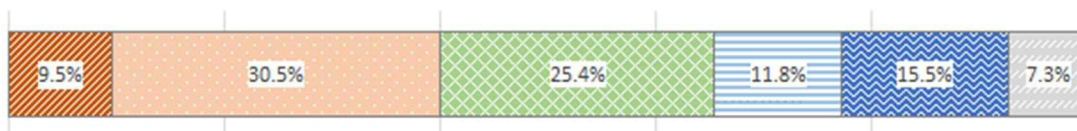
■ 高い
 ■ やや高い
 ■ 普通
 ■ やや低い
 ■ 低い
 ■ わからない

基本目標④ 強みを生かした産業が経済をけん引するまちにします

1. 北海道の食の魅力を生かした食産業が発展している



2. 国内外から多くの観光客が訪れて、経済が活性化している



3. 環境配慮や省エネルギーの産業が発展している



4. 健康・福祉・医療分野の産業が発展している



5. ICT 産業(インターネット等情報通信関連の産業)が発展している



【今後の重要度】

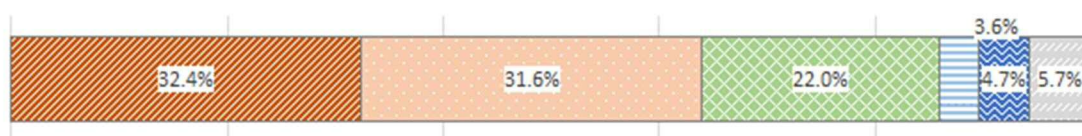
■ 高い
 ■ やや高い
 ■ 普通
 ■ やや低い
 ■ 低い
 ■ わからない

基本目標④ 強みを生かした産業が経済をけん引するまちにします

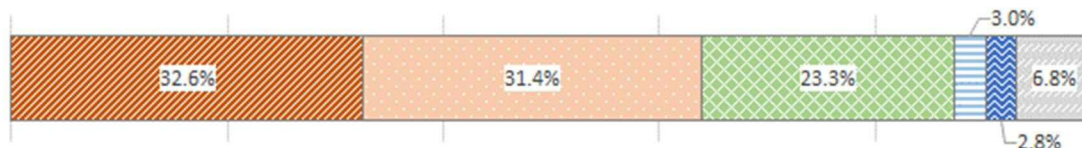
1. 北海道の食の魅力を生かした食産業が発展している



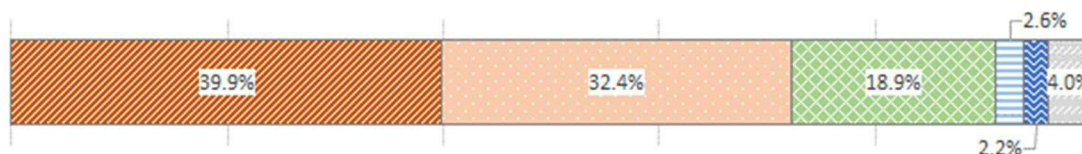
2. 国内外から多くの観光客が訪れて、経済が活性化している



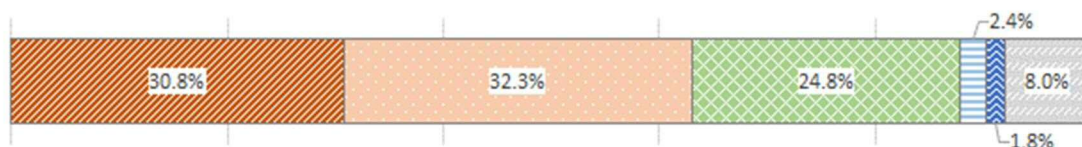
3. 環境配慮や省エネルギーの産業が発展している



4. 健康・福祉・医療分野の産業が発展している



5. ICT 産業(インターネット等情報通信関連の産業)が発展している



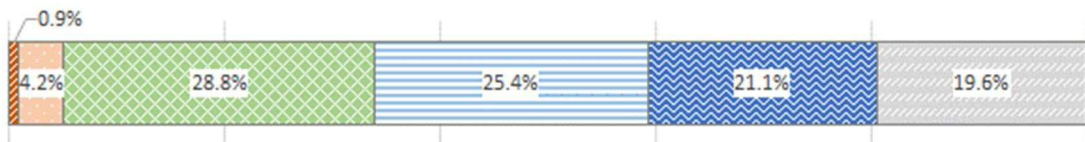
【現在までの充実度】

■高い ■やや高い ■普通 ■やや低い ■低い ■わからない

6. コンテンツ産業(アニメ、漫画、映画、ゲーム、音楽などの創作物を作る産業)が発展している

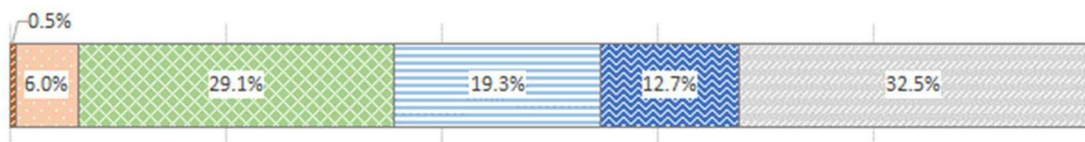


7. 札幌の企業の大半を構成している中小企業の経営が安定し、活発な経済活動が行われている



基本目標⑤ 様々な連携により産業が高度化するまちにします

1. 産学官連携などにより産業に多くのイノベーション(新しい方法や仕組みを導入し新しい価値を生み出すこと)が起きている

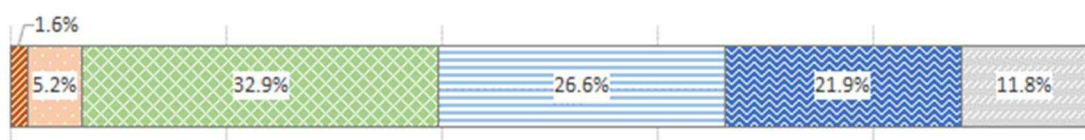


2. 起業・創業しやすい環境が整っている



基本目標⑥ 市民の雇用が安定的に確保されるまちにします

1. 雇用の場が安定的に確保されている



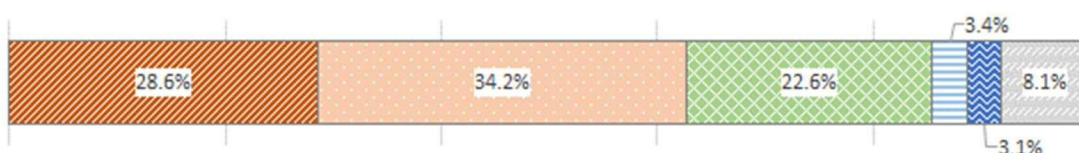
【今後の重要度】

■高い ■やや高い ■普通 ■やや低い ■低い ■わからない

6. コンテンツ産業(アニメ、漫画、映画、ゲーム、音楽などの創作物を作る産業)が発展している



7. 札幌の企業の大半を構成している中小企業の経営が安定し、活発な経済活動が行われている



基本目標⑤ 様々な連携により産業が高度化するまちにします

1. 産学官連携などにより産業に多くのイノベーション(新しい方法や仕組みを導入し新しい価値を生み出すこと)が起きている

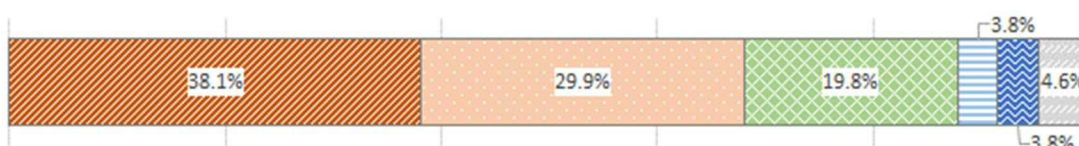


2. 起業・創業しやすい環境が整っている



基本目標⑥ 市民の雇用が安定的に確保されるまちにします

1. 雇用の場が安定的に確保されている



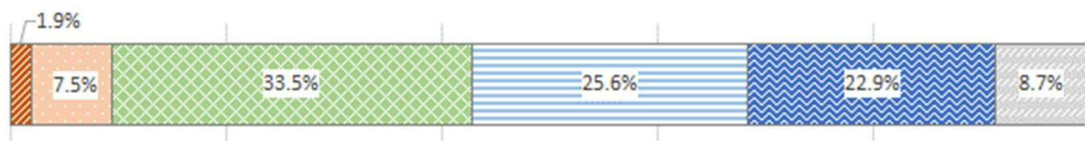
【現在までの充実度】

■高い ■やや高い ■普通 ■やや低い ■低い ■わからない

2. 誰もが自分の能力を生かして働くことができる

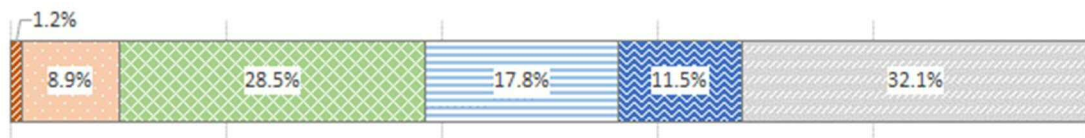


3. ワークライフバランス(仕事と家庭の両立)のとれた暮らしを送っている



基本目標⑦ 強みを生かし世界とつながるまちにします

1. アジアを始めとした海外を対象にしたビジネスが活性化している

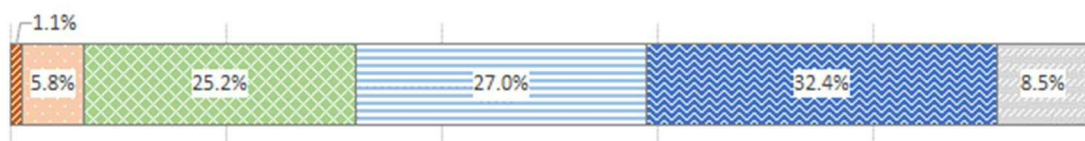


2. 人や企業間での国際交流が活発に行われている



基本目標⑧ 地域コミュニティを支える産業を大切にするまちにします

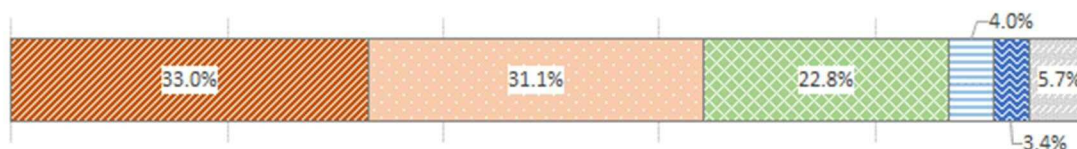
1. 商店・商店街が活性化し、地域に賑わいを生み出している



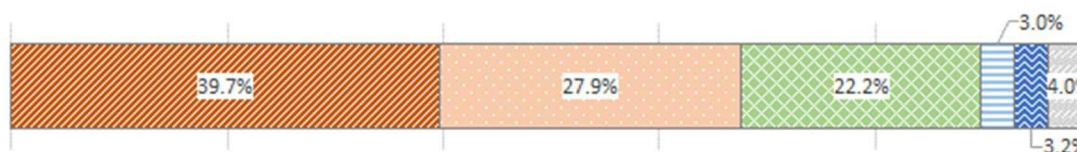
【今後の重要度】

■ 高い
 ■ やや高い
 ■ 普通
 ■ やや低い
 ■ 低い
 ■ わからない

2. 誰もが自分の能力を生かして働くことができる

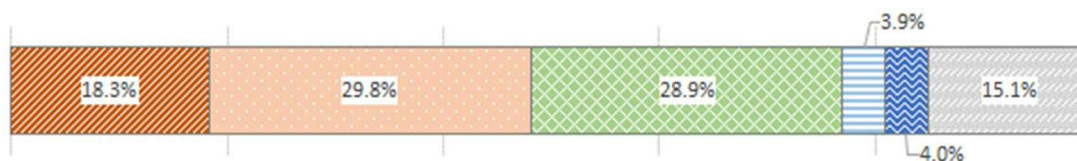


3. ワークライフバランス(仕事と家庭の両立)のとれた暮らしを送っている



基本目標⑦ 強みを生かし世界とつながるまちにします

1. アジアを始めとした海外を対象にしたビジネスが活性化している



2. 人や企業間での国際交流が活発に行われている



基本目標⑧ 地域コミュニティを支える産業を大切にするまちにします

1. 商店・商店街が活性化し、地域に賑わいを生み出している



【現在までの充実度】

■高い ■やや高い ■普通 ■やや低い ■低い ■わからない

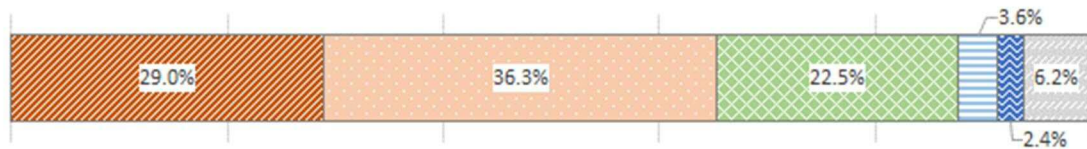
分野２「経済」の総合的な取組状況



【今後の重要度】

■ 高い
 ■ やや高い
 ■ 普通
 ■ やや低い
 ■ 低い
 ■ わからない

分野2「経済」の総合的な取組状況



『分野2 経済』では、「北海道の食の魅力を生かした食産業が発展している」において、「高い」「やや高い」を合わせた割合が、充実度で55.2%、重要度で78.6%となっており、充実度・重要度ともに「分野2」で最も高い。

『基本目標⑥ 雇用の安定的な確保』では、全ての項目において、充実度の「やや低い」「低い」を合わせた割合が50%前後と高く、重要度の「高い」「やや高い」を合わせた割合が60%以上と高い結果となっている。

「総合的な取組状況」でも、充実度は「やや低い」「低い」を合わせた割合が41.1%、重要度は「高い」「やや高い」を合わせた割合が65.3%であり、分野全体でも充実度が低く重要度が高い傾向である。

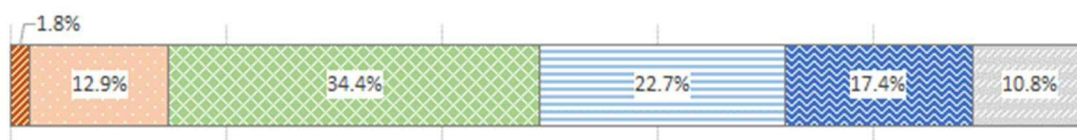
分野3. 子ども・若者 ～将来を担う子ども・若者の健やかな育み～

【現在までの充実度】

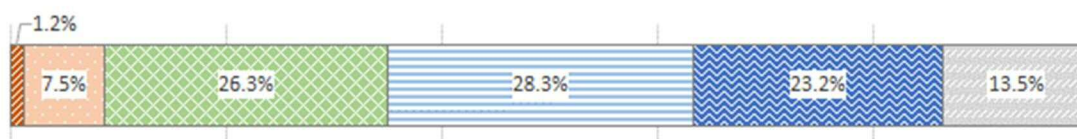
■ 高い
 ■ やや高い
 ■ 普通
 ■ やや低い
 ■ 低い
 ■ わからない

基本目標⑨ 安心して子どもを生み育てられるまちにします

1. 安心して子どもを生み育てることができる環境が整っている



2. 働きながら子育てができる環境が整っている



基本目標⑩ 将来を担う子どもの成長と自立を支えるまちにします

1. 子どもの教育環境が整っている



2. 虐待やいじめ、不登校などに適切に対応する体制が整っている



3. 配慮や支援を要する子どもへの、相談・支援体制が整っている



【今後の重要度】

■ 高い
 ■ やや高い
 ■ 普通
 ■ やや低い
 ■ 低い
 ■ わからない

基本目標⑨ 安心して子どもを生み育てられるまちにします

1. 安心して子どもを生み育てることができる環境が整っている



2. 働きながら子育てができる環境が整っている



基本目標⑩ 将来を担う子どもの成長と自立を支えるまちにします

1. 子どもの教育環境が整っている



2. 虐待やいじめ、不登校などに適切に対応する体制が整っている



3. 配慮や支援を要する子どもへの、相談・支援体制が整っている

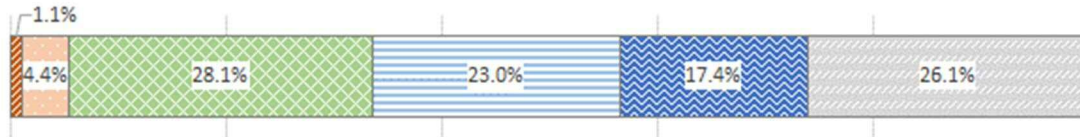


【現在までの充実度】

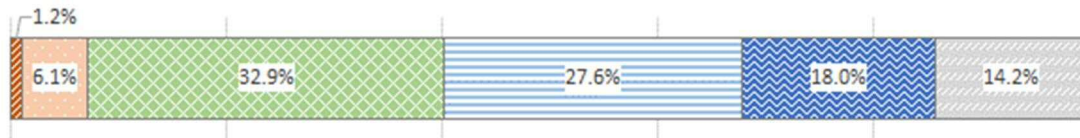
■ 高い
 ■ やや高い
 ■ 普通
 ■ やや低い
 ■ 低い
 ■ わからない

基本目標⑪ 若者が社会的に自立し活躍できるまちにします

1. 若者の自立・活躍に向けた教育・相談・支援体制が整っている



分野3「子ども・若者」の総合的な取組状況

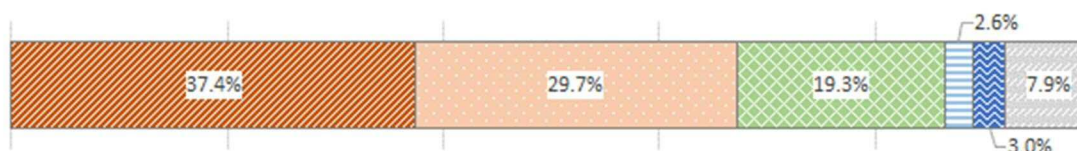


【今後の重要度】

■ 高い
 ■ やや高い
 ■ 普通
 ■ やや低い
 ■ 低い
 ■ わからない

基本目標⑪ 若者が社会的に自立し活躍できるまちにします

1. 若者の自立・活躍に向けた教育・相談・支援体制が整っている



分野3「子ども・若者」の総合的な取組状況



『分野3 子ども・若者』では、「働きながら子育てができる環境が整っている」において、「高い」「やや高い」を合わせた割合が、充実度では8.7%と低く、重要度では75.3%と非常に高くなっている。『基本目標⑩ 将来を担う子どもの成長と自立を支えるまちにします』でも同様の傾向で、「子どもの教育環境が整っている」については充実度が少し高めではあるものの、「虐待やいじめ、不登校などに適切に対応する体制が整っている」「配慮や支援を要する子どもへの、相談・支援体制が整っている」では「高い」「やや高い」を合わせた割合が10%以下と低く、重要度は70%以上と高い結果となっている。

「総合的な取組状況」でも、充実度は「やや低い」「低い」を合わせた割合が45.6%、重要度は「高い」「やや高い」を合わせた割合が73.2%となっており、他の分野と比較しても充実度が最も低く、重要度が最も高い結果である。

分野4. 安全・安心 ～安心して暮らせる「人に優しい」まちづくり～

【現在までの充実度】

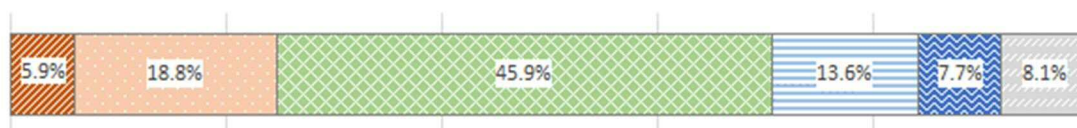
■ 高い ■ やや高い ■ 普通 ■ やや低い ■ 低い ■ わからない

基本目標⑫ 誰もが健康的に暮らせるまちにします

1. 健康・医療・福祉に関する相談・支援体制が整っている



2. 身近な医療体制や、救急時の医療体制が整っている



3. 市民の健康づくりのための活動が活発に行われている



4. 支援を要する高齢者や障がいのある方が安心して生活できるサービス・住まいが提供されている



5. 食の安全に留意し、誰もが健やかで豊かな食生活を送っている

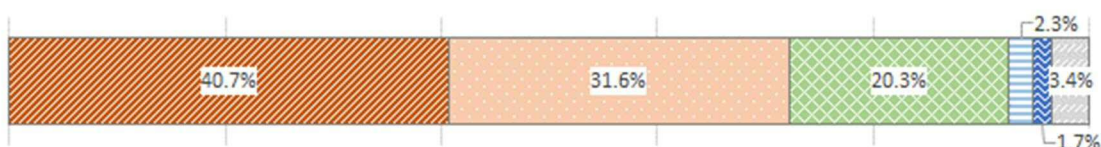


【今後の重要度】

■高い ■やや高い ■普通 ■やや低い ■低い ■わからない

基本目標⑫ 誰もが健康的に暮らせるまちにします

1. 健康・医療・福祉に関する相談・支援体制が整っている



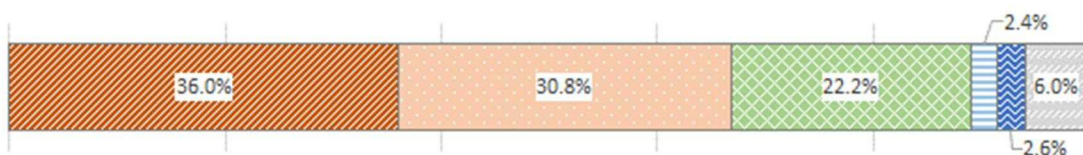
2. 身近な医療体制や、救急時の医療体制が整っている



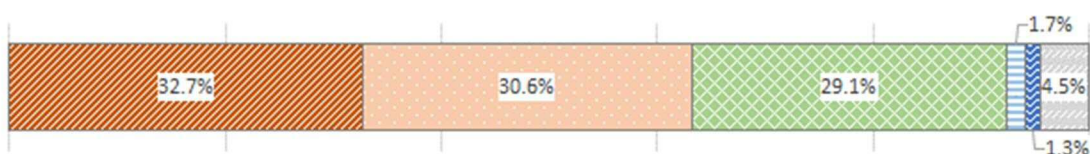
3. 市民の健康づくりのための活動が活発に行われている



4. 支援を要する高齢者や障がいのある方が安心して生活できるサービス・住まいが提供されている



5. 食の安全に留意し、誰もが健やかで豊かな食生活を送っている

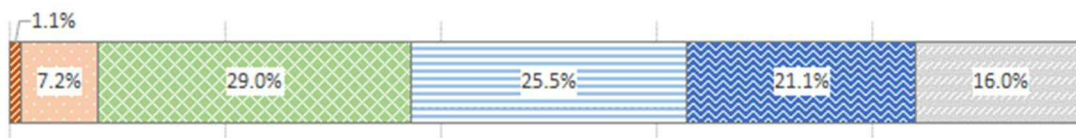


【現在までの充実度】

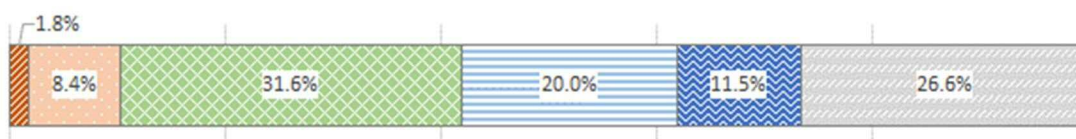
■高い ■やや高い ■普通 ■やや低い ■低い ■わからない

基本目標⑬ 地域防災力が強く災害に強いまちにします

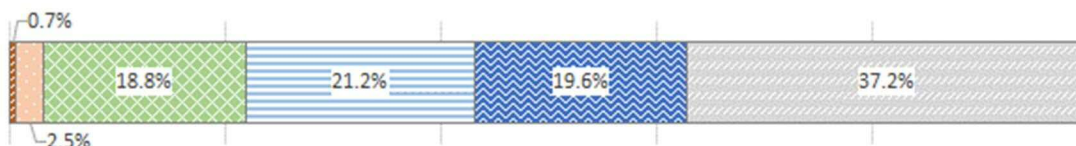
1. 災害発生時に市民が主体的に行動する・地域等で助け合う意識が醸成されている



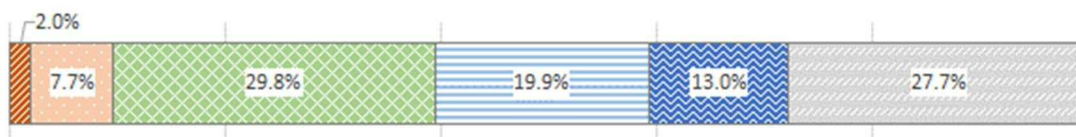
2. 災害発生時に避難できる場所や必要となる物品・物資が整備・確保されている



3. 災害発生時に障がいのある方や、子ども、外国人観光客等が円滑に避難できる配慮がなされている



4. 耐震化や水害対策等、災害に対応できる建物・都市基盤の整備がなされている



基本目標⑭ 安全な日常生活が送れるまちにします

1. 防犯のための取組・環境・体制が充実している

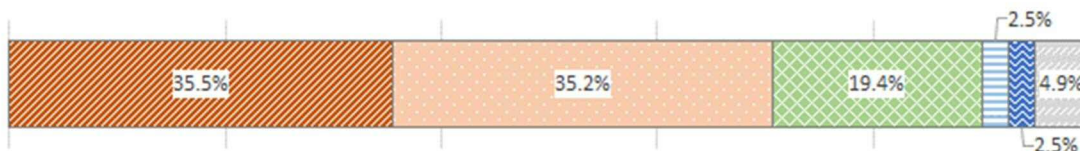


【今後の重要度】

■ 高い
 ■ やや高い
 ■ 普通
 ■ やや低い
 ■ 低い
 ■ わからない

基本目標⑬ 地域防災力が強く災害に強いまちにします

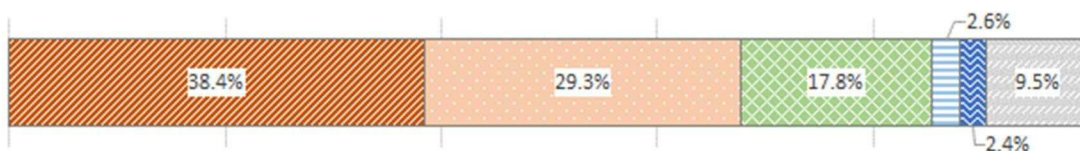
1. 災害発生時に市民が主体的に行動する・地域等で助け合う意識が醸成されている



2. 災害発生時に避難できる場所や必要となる物品・物資が整備・確保されている



3. 災害発生時に障がいのある方や、子ども、外国人観光客等が円滑に避難できる配慮がなされている

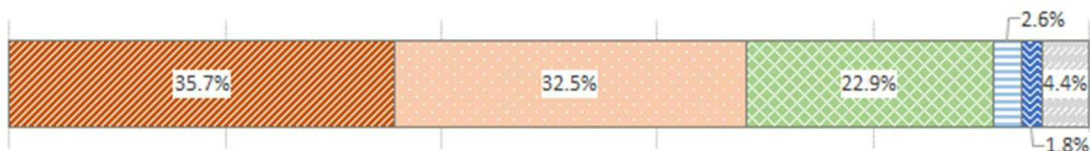


4. 耐震化や水害対策等、災害に対応できる建物・都市基盤の整備がなされている



基本目標⑭ 安全な日常生活が送れるまちにします

1. 防犯のための取組・環境・体制が充実している



【現在までの充実度】

■高い ■やや高い ■普通 ■やや低い ■低い ■わからない

2. 交通事故を防ぐための取組・環境が整っている



3. 公害の少ないまちが実現している



4. 人が集まる施設や住宅のバリアフリー化・ユニバーサルデザイン化(年齢や国籍、障がいの有無にかかわらず、多くの人が利用できる)が進んでいる



5. 除排雪に関するルール・マナーが共有され守られている



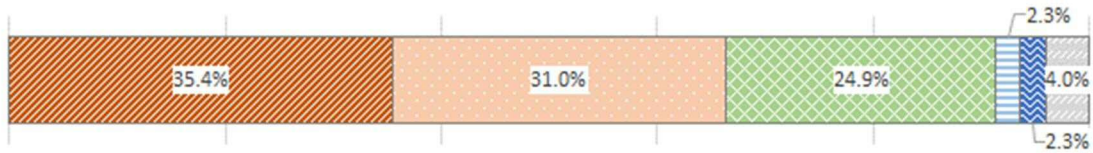
6. 安全な冬道が確保され、雪と共存した暮らしが実現している



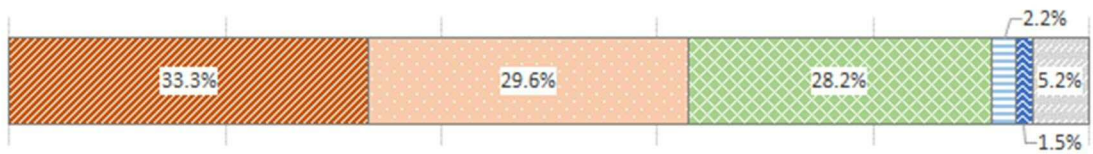
【今後の重要度】

■ 高い
 ■ やや高い
 ■ 普通
 ■ やや低い
 ■ 低い
 ■ わからない

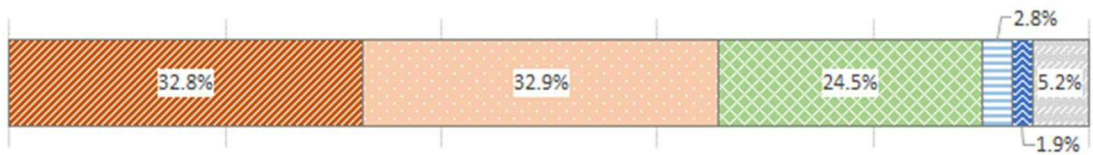
2. 交通事故を防ぐための取組・環境が整っている



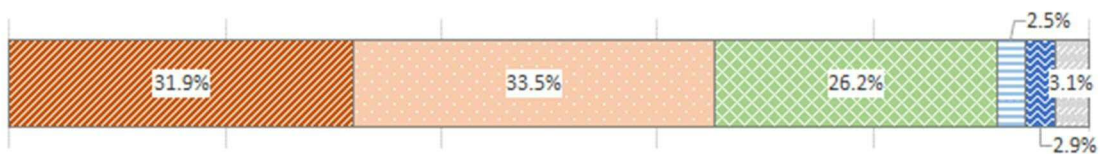
3. 公害の少ないまちが実現している



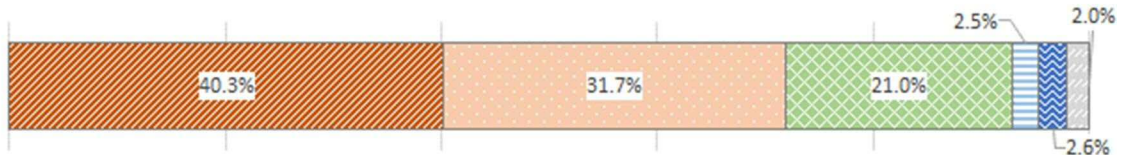
4. 人が集まる施設や住宅のバリアフリー化・ユニバーサルデザイン化(年齢や国籍、障がいの有無にかかわらず、多くの人が利用できる)が進んでいる



5. 除排雪に関するルール・マナーが共有され守られている



6. 安全な冬道が確保され、雪と共存した暮らしが実現している



【現在までの充実度】

■高い ■やや高い ■普通 ■やや低い ■低い ■わからない

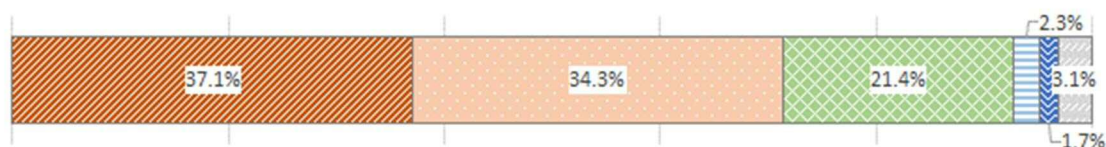
分野4「安全・安心」の総合的な取組状況



【今後の重要度】

■ 高い
 ■ やや高い
 ■ 普通
 ■ やや低い
 ■ 低い
 ■ わからない

分野4「安全・安心」の総合的な取組状況



『分野4 安全・安心』の充実度については、他の分野に比べ多くの項目で「普通」の割合が40%前後と高めとなっている。充実度の低い項目としては、「災害発生時に障がいのある方や、子ども、外国人観光客等が円滑に避難できる配慮がなされている」で「高い」「やや高い」を合わせた割合が3.2%である。また「除排雪に関するルール・マナーが共有され守られている」と「安全な冬道が確保され、雪と共存した暮らしが実現している」において、「やや低い」「低い」を合わせた割合がそれぞれ42.7%、42.5%となっており、他より充実度が低い結果となっている。

重要度については、ほぼ全ての項目で「高い」「やや高い」を合わせた割合が60%以上、「身近な医療体制や、救急時の医療体制が整っている」においては74.1%と最も高い。「総合的な取組状況」でも71.4%となっており、『分野3 子ども・若者』に次いで重要度が高くなっている。

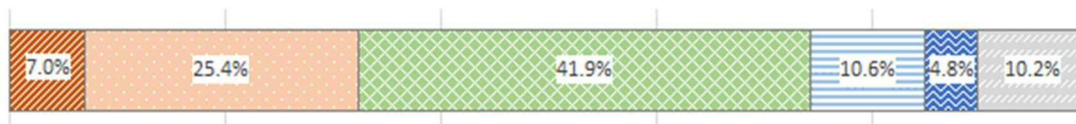
分野5. 環境 ～次世代へつなげる持続可能なまちづくり～

【現在までの充実度】

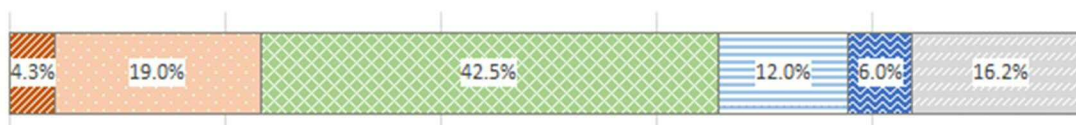
■ 高い
 ■ やや高い
 ■ 普通
 ■ やや低い
 ■ 低い
 ■ わからない

基本目標⑮ 豊かな自然と共生するまちにします

1. 森林、農地、公園などのみどりの保全や、うるおいを与える河川などの水環境の保全がなされている

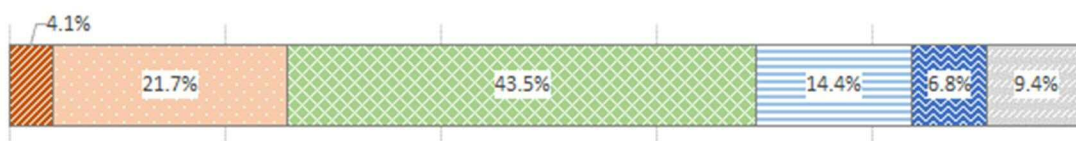


2. 自然環境を守り育むことなどにより、生物多様性(生きもののつながりのこと。生きもの全て直接、間接的に支えあって生きていること。)が保全されている



基本目標⑯ 資源やエネルギーを有効活用するまちにします

1. 市民や企業などが、積極的にごみの減量やリサイクル・資源の再利用を行っている



2. CO2 削減のため、太陽光などの再生可能エネルギーやエコカーの普及、住宅やビルの省エネルギー化の促進などが積極的に行われている

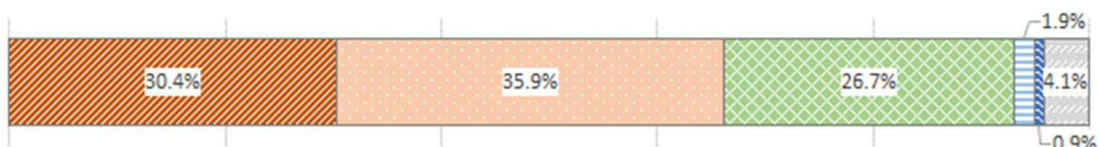


【今後の重要度】

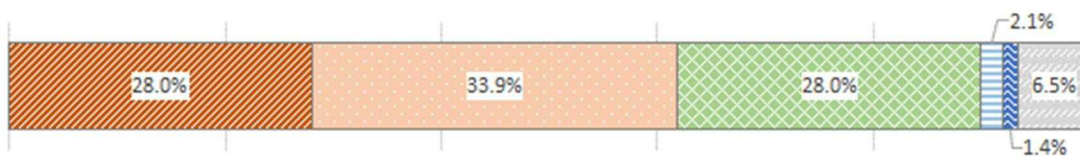
■ 高い
 ■ やや高い
 ■ 普通
 ■ やや低い
 ■ 低い
 ■ わからない

基本目標⑮ 豊かな自然と共生するまちにします

1. 森林、農地、公園などのもどりの保全や、うるおいを与える河川などの水環境の保全がなされている

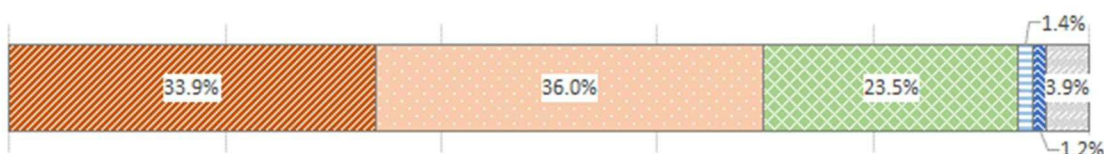


2. 自然環境を守り育むことなどにより、生物多様性(生きもののつながりのこと。生きもの全て直接、間接的に支えあって生きていること。)が保全されている

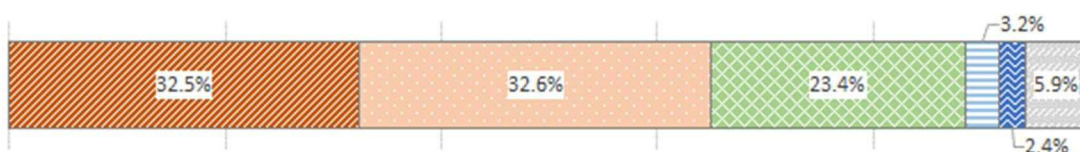


基本目標⑯ 資源やエネルギーを有効活用するまちにします

1. 市民や企業などが、積極的にごみの減量やリサイクル・資源の再利用を行っている



2. CO2 削減のため、太陽光などの再生可能エネルギーやエコカーの普及、住宅やビルの省エネルギー化の促進などが積極的に行われている



【現在までの充実度】

■ 高い
 ■ やや高い
 ■ 普通
 ■ やや低い
 ■ 低い
 ■ わからない

基本目標⑰ 市民が環境について学び行動するまちにします

1. 市民や企業などが環境問題に関心を持ち、主体的に環境保全活動に取り組んでいる



分野5「環境」の総合的な取組状況

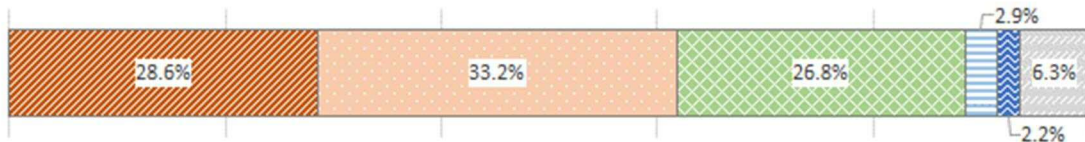


【今後の重要度】

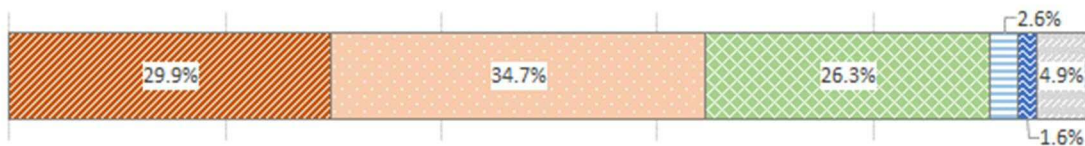
■ 高い
 ■ やや高い
 ■ 普通
 ■ やや低い
 ■ 低い
 ■ わからない

基本目標⑰ 市民が環境について学び行動するまちにします

1. 市民や企業などが環境問題に関心を持ち、主体的に環境保全活動に取り組んでいる



分野5「環境」の総合的な取組状況



『分野5 環境』の充実度については、極端に「高い」「低い」と回答した項目はなく、「普通」が40%前後となっており、「総合的な取組状況」においても「普通」が48.5%という高い結果である。

重要度については全ての項目において「高い」「やや高い」の割合が高く、最も高い「市民や企業などが、積極的にごみの減量やリサイクル・資源の再利用を行っている」で69.9%となっている。

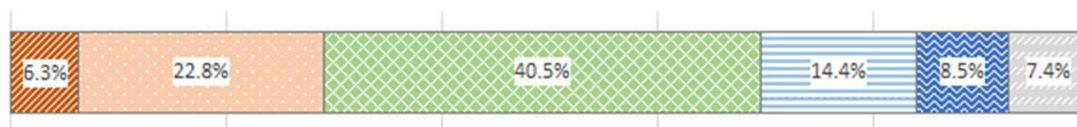
分野6. 文化 ～文化芸術・スポーツによる創造性の育み～

【現在までの充実度】

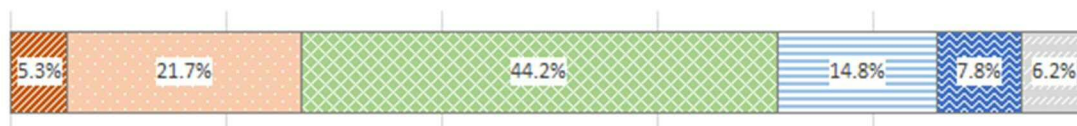
■ 高い
 ■ やや高い
 ■ 普通
 ■ やや低い
 ■ 低い
 ■ わからない

基本目標⑩ 創造的な活動により活力あふれるまちにします

1. 文化芸術を気軽に楽しめる環境が整っている



2. スポーツや運動を気軽に楽しめる環境が整っている



3. 生涯学習(興味関心や課題に応じて自発的に行う、生涯を通じた学習活動)の環境が整っている



基本目標⑪ 文化芸術やスポーツの魅力によりにぎわいが生まれるまちにします

1. 魅力的な文化芸術イベントが活発に開催されている



2. 魅力的なスポーツ関連イベントが活発に開催されている



【今後の重要度】

■ 高い
 ■ やや高い
 ■ 普通
 ■ やや低い
 ■ 低い
 ■ わからない

基本目標⑩ 創造的な活動により活力あふれるまちにします

1. 文化芸術を気軽に楽しめる環境が整っている



2. スポーツや運動を気軽に楽しめる環境が整っている



3. 生涯学習（興味関心や課題に応じて自発的に行う、生涯を通じた学習活動）の環境が整っている



基本目標⑪ 文化芸術やスポーツの魅力によりにぎわいが生まれるまちにします

1. 魅力的な文化芸術イベントが活発に開催されている



2. 魅力的なスポーツ関連イベントが活発に開催されている



【現在までの充実度】

■高い ■やや高い ■普通 ■やや低い ■低い ■わからない

3. 文化芸術やスポーツが観光資源として活かされている

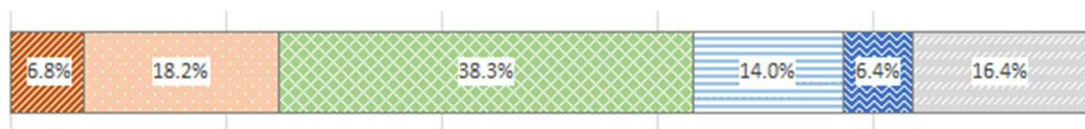


基本目標⑳ 市民一人一人が魅力を再認識し発信するまちにします

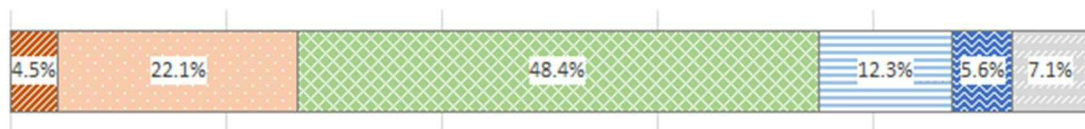
1. 雪やウィンタースポーツを楽しむ環境が整っている



2. 魅力ある札幌の文化やライフスタイルが国内外に発信されている



分野6「文化」の総合的な取組状況



【今後の重要度】

■高い ■やや高い ■普通 ■やや低い ■低い ■わからない

3. 文化芸術やスポーツが観光資源として活かされている



基本目標⑳ 市民一人一人が魅力を再認識し発信するまちにします

1. 雪やウィンタースポーツを楽しむ環境が整っている



2. 魅力ある札幌の文化やライフスタイルが国内外に発信されている



分野6「文化」の総合的な取組状況



『分野6 文化』の充実度は、他の分野に比べて「高い」「やや高い」の割合が高い傾向にあり、「雪やウィンタースポーツを楽しむ環境が整っている」で最も高く41.4%、「総合的な取組状況」で26.6%となっている。

重要度については、全体的に「高い」「やや高い」を合わせた割合が50%前後、「総合的な取組状況」においても55.1%であり、他の分野と比較して低めである。

また充実度・重要度ともに「普通」の割合が高く、「総合的な取組状況」においては、「普通」の割合が充実度で48.4%、重要度で34.9%となっている。

分野７．都市空間 ～魅力と活力を持続的に高める集約型のまちづくり～

【現在までの充実度】

■高い ■やや高い ■普通 ■やや低い ■低い ■わからない

基本目標⑪ 公共交通を中心とした集約型のまちにします

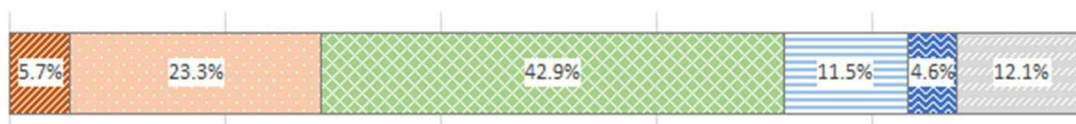
1. 地下鉄の始発駅などのエリアでは、にぎわいと生活利便性を高める施設が多くあり、その地域の中心となっている



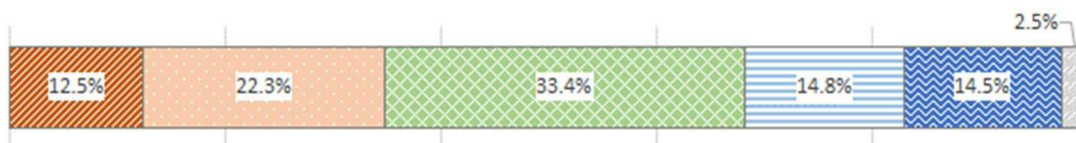
2. 地下鉄や路面電車沿線では、買い物・通院などの生活利便性の高い暮らしの場が形成されている



3. 郊外部の住宅地では、ゆとりある良好な環境を生かした暮らしの場が形成されている



4. 公共交通の利便性が高まっており、積極的に公共交通を利用している



5. 道内市町村や国内・海外との交流を支える交通ネットワークが整備されている

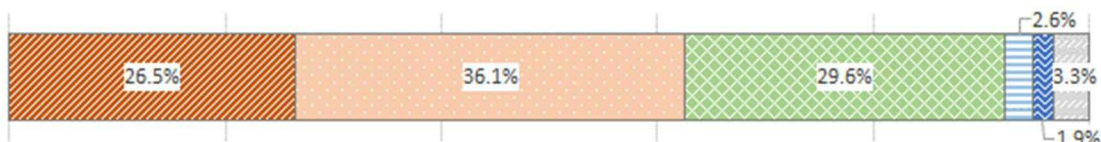


【今後の重要度】

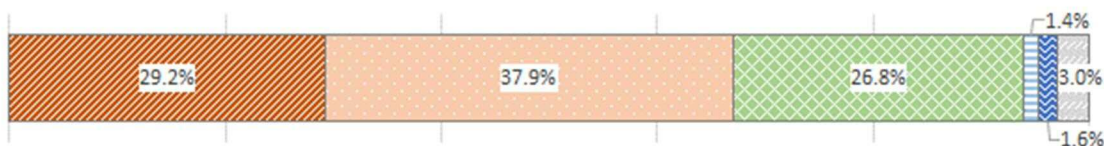
■ 高い
 ■ やや高い
 ■ 普通
 ■ やや低い
 ■ 低い
 ■ わからない

基本目標⑪ 公共交通を中心とした集約型のまちにします

1. 地下鉄の始発駅などのエリアでは、にぎわいと生活利便性を高める施設が多くあり、その地域の中心となっている



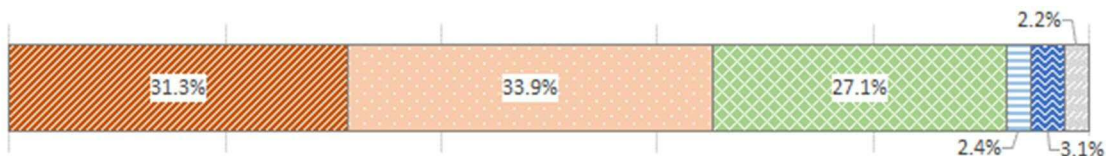
2. 地下鉄や路面電車沿線では、買い物・通院などの生活利便性の高い暮らしの場が形成されている



3. 郊外部の住宅地では、ゆとりある良好な環境を生かした暮らしの場が形成されている



4. 公共交通の利便性が高まっており、積極的に公共交通を利用している



5. 道内市町村や国内・海外との交流を支える交通ネットワークが整備されている

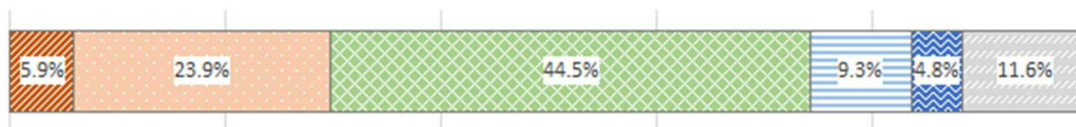


【現在までの充実度】

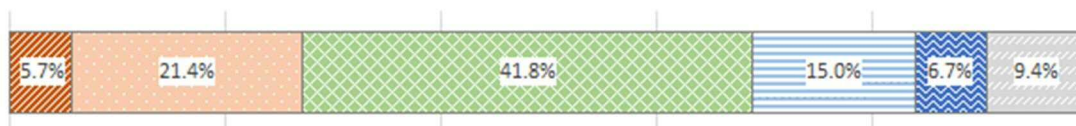
■ 高い
 ■ やや高い
 ■ 普通
 ■ やや低い
 ■ 低い
 ■ わからない

基本目標② 札幌の顔となる魅力と活力あふれる都心にします

1. 都心には経済・文化・交流など多様な活動を支える場があり、人を中心とした魅力ある空間が形成されている



2. 都心には公園や街路樹のみならず、建物内においてもみどり豊かな空間が形成されている



基本目標③ 都市の価値を高めるみどりを生かしたまちにします

1. うるおいや安らぎを与えるみどりと、憩いや交流の場として活用される公園などがあり、良好な都市景観が形成されている



基本目標④ 都市基盤が適切に維持・保全されるまちにします

1. 老朽化が進む道路・公園・上下水道などの都市基盤、区役所・学校・体育館などの公共施設の維持・保全が進んでいる



【今後の重要度】

■ 高い
 ■ やや高い
 ■ 普通
 ■ やや低い
 ■ 低い
 ■ わからない

基本目標② 札幌の顔となる魅力と活力あふれる都心にします

1. 都心には経済・文化・交流など多様な活動を支える場があり、人を中心とした魅力ある空間が形成されている

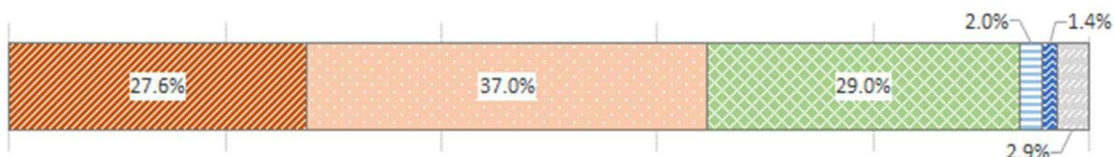


2. 都心には公園や街路樹のみならず、建物内においてもみどり豊かな空間が形成されている



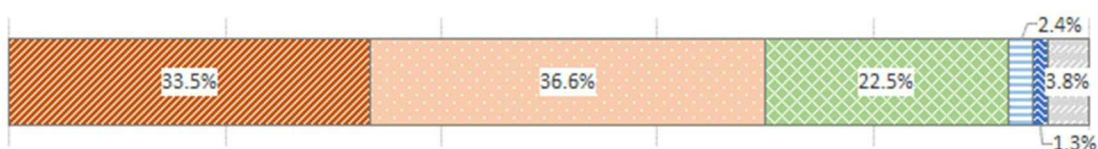
基本目標③ 都市の価値を高めるみどりを生かしたまちにします

1. うるおいや安らぎを与えるみどりと、憩いや交流の場として活用される公園などがあり、良好な都市景観が形成されている



基本目標④ 都市基盤が適切に維持・保全されるまちにします

1. 老朽化が進む道路・公園・上下水道などの都市基盤、区役所・学校・体育館などの公共施設の維持・保全が進んでいる



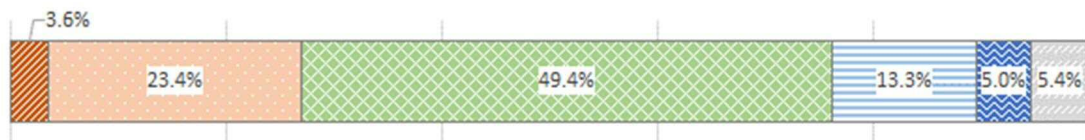
【現在までの充実度】

■ 高い
 ■ やや高い
 ■ 普通
 ■ やや低い
 ■ 低い
 ■ わからない

2. 公共施設については、白石区役所のように、区民センターやえほん図書館等その他の施設を複合化するなど、効果的かつ効率的な再配置が進められている



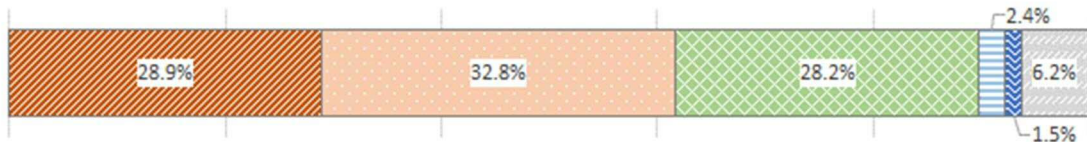
分野7「都市空間」の総合的な取組状況



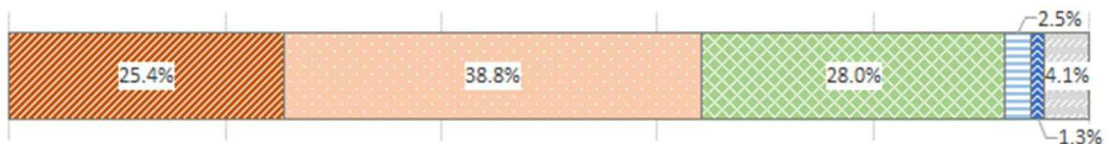
【今後の重要度】

■高い ■やや高い ■普通 ■やや低い ■低い ■わからない

2. 公共施設については、白石区役所のように、区民センターやえほん図書館等その他の施設を複合化するなど、効果的かつ効率的な再配置が進められている



分野7「都市空間」の総合的な取組状況



『分野7 都市空間』の充実度は、他の分野と比較して「高い」「やや高い」を合わせた割合が最も高く、「総合的な取組状況」においては全分野で最も高い27.0%となっている。分野7の中で割合が高いのは「地下鉄や路面電車沿線では、買い物・通院などの生活利便性の高い暮らしの場が形成されている」で、43.3%となっている。

重要度もすべての項目で「高い」「やや高い」を合わせた割合が50%以上と高く、「老朽化が進む道路・公園・上下水道などの都市基盤、区役所・学校・体育館などの公共施設の維持・保全が進んでいる」では重要度が最も高く、70.1%となっている。

3. 相関図

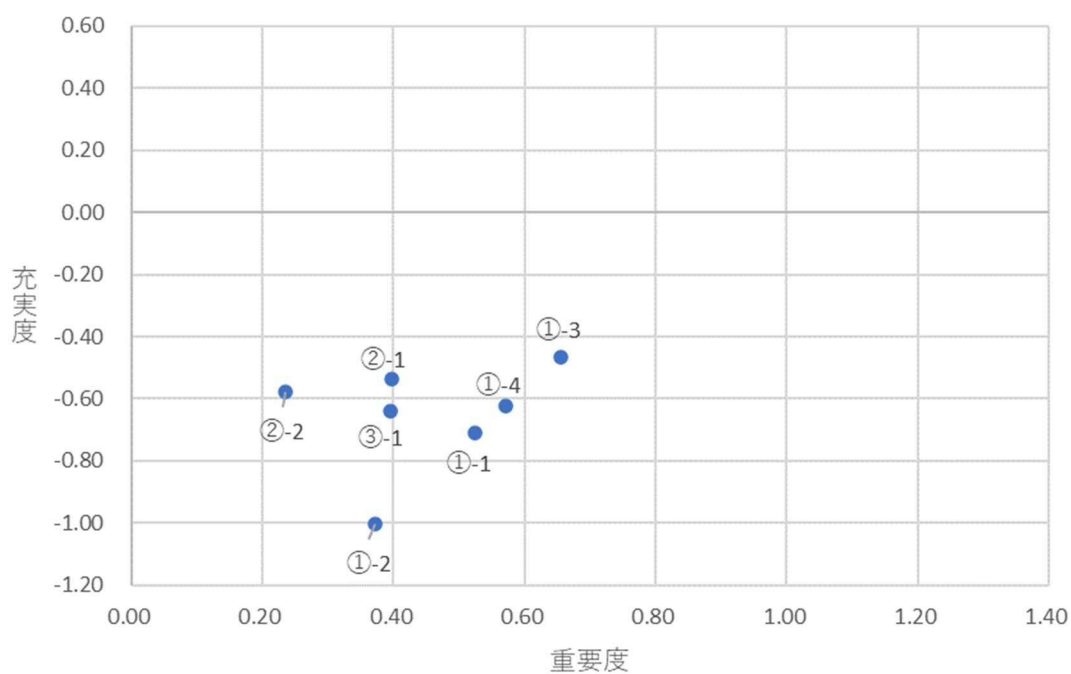
調査項目について、充実度、重要度それぞれの加重平均値の相関図を示す。

加重平均値の計算方法は、以下のとおりである。

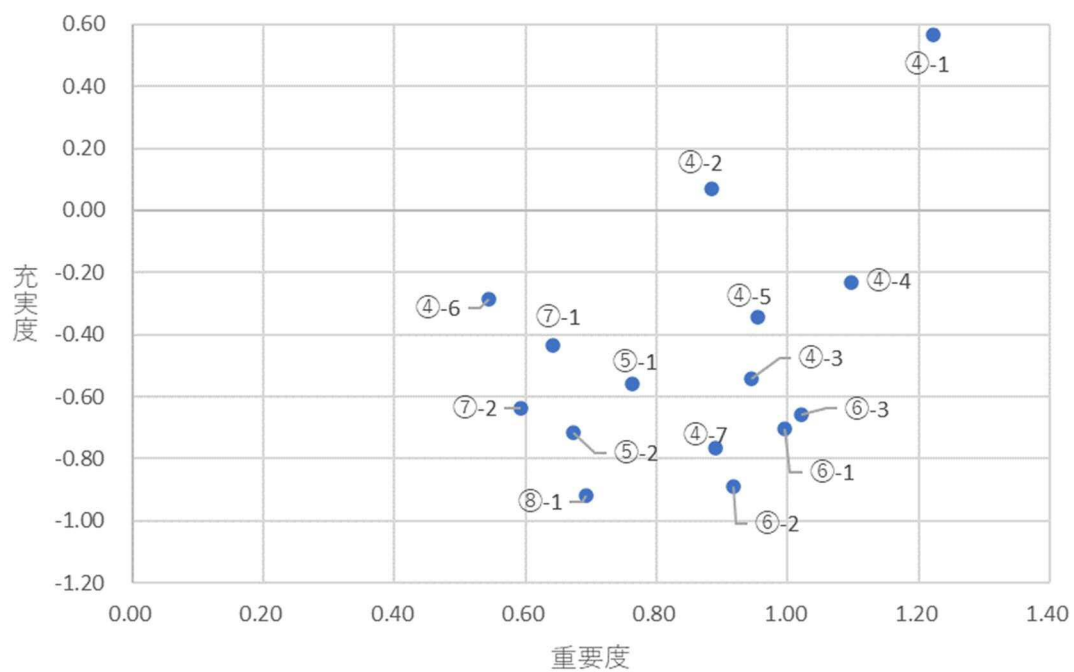
選択肢	高い	やや高い	普通	やや低い	低い
点数	+2	+1	0	-1	-2
回答数	A	B	C	D	E

加重平均値 $=((A \times 2) + (B \times 1) + (C \times 0) + (D \times (-1)) + (E \times (-2))) / \text{回答数}$

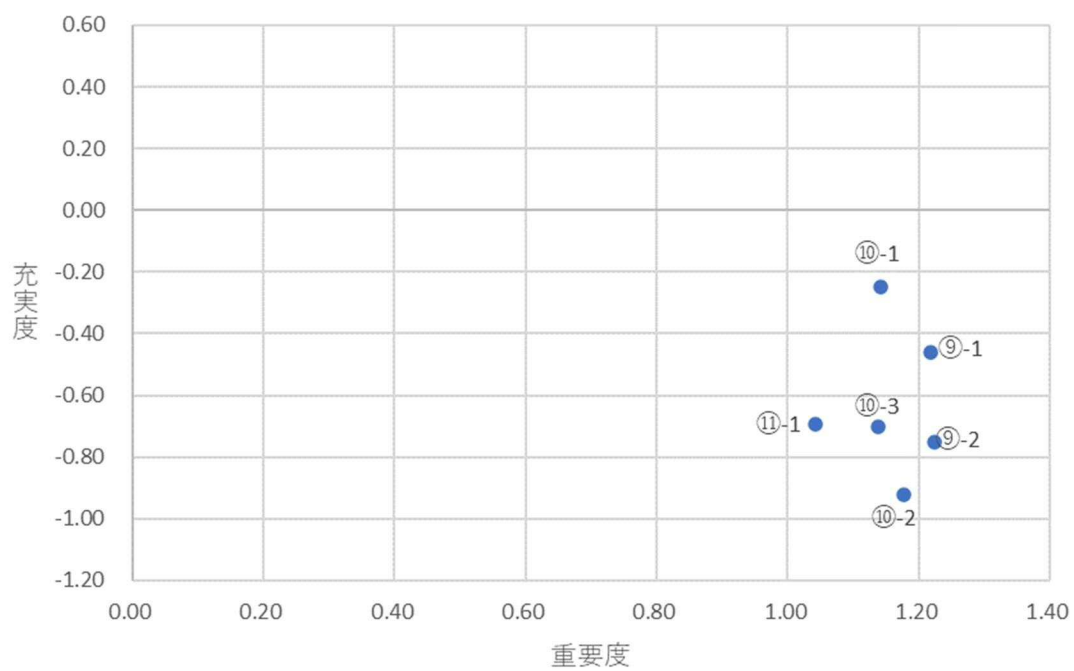
分野1. 地域



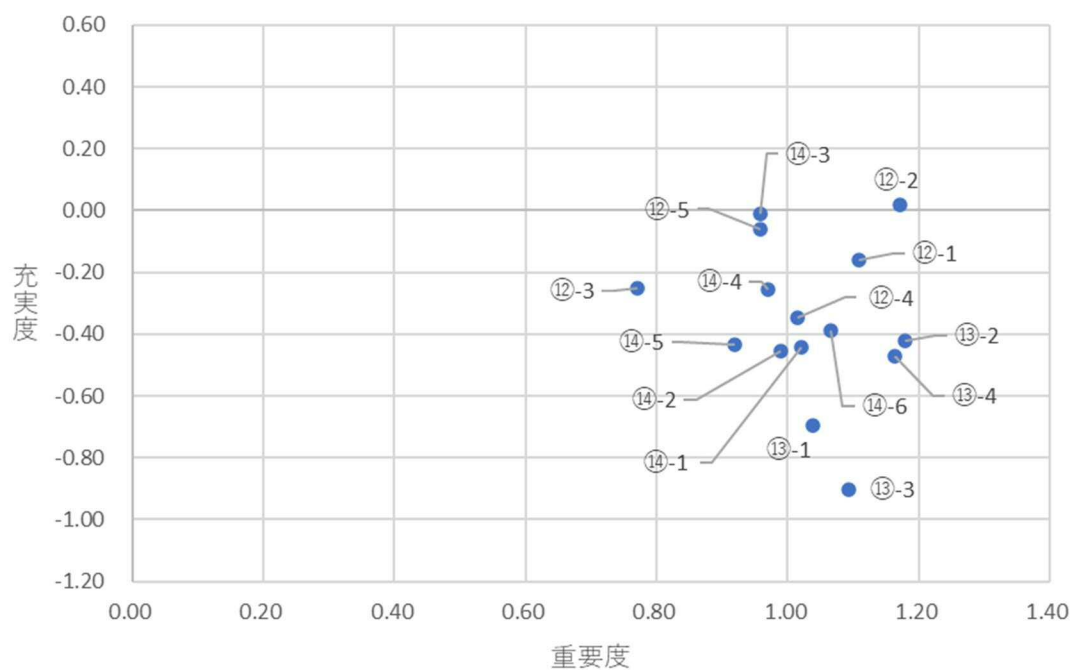
分野2 経済



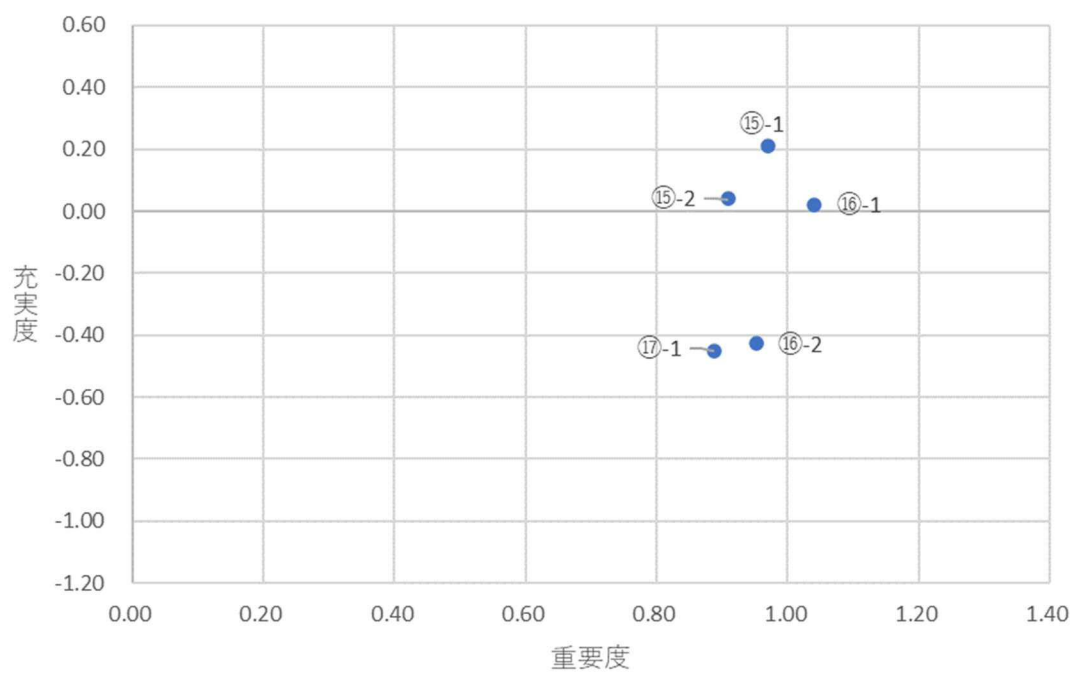
分野3 子ども・若者



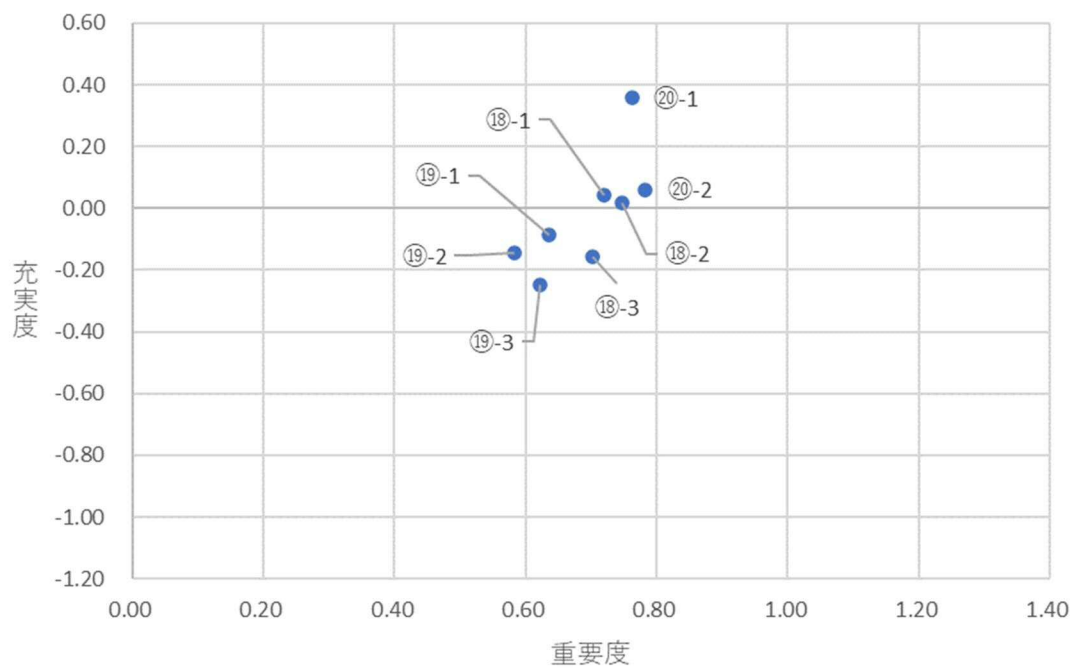
分野4 安全・安心



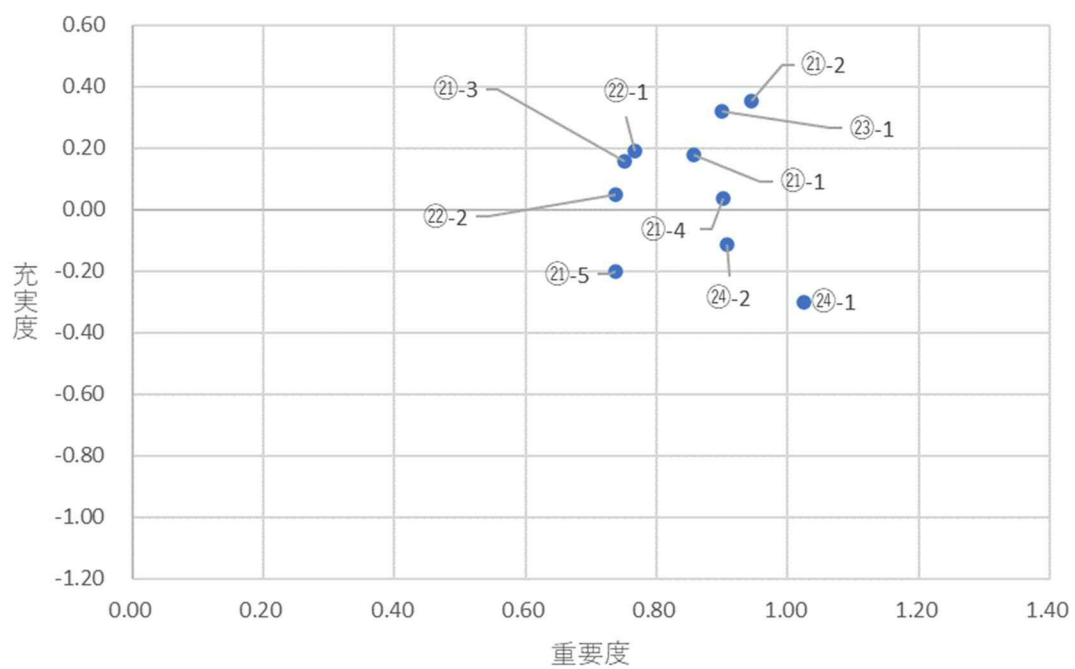
分野5 環境



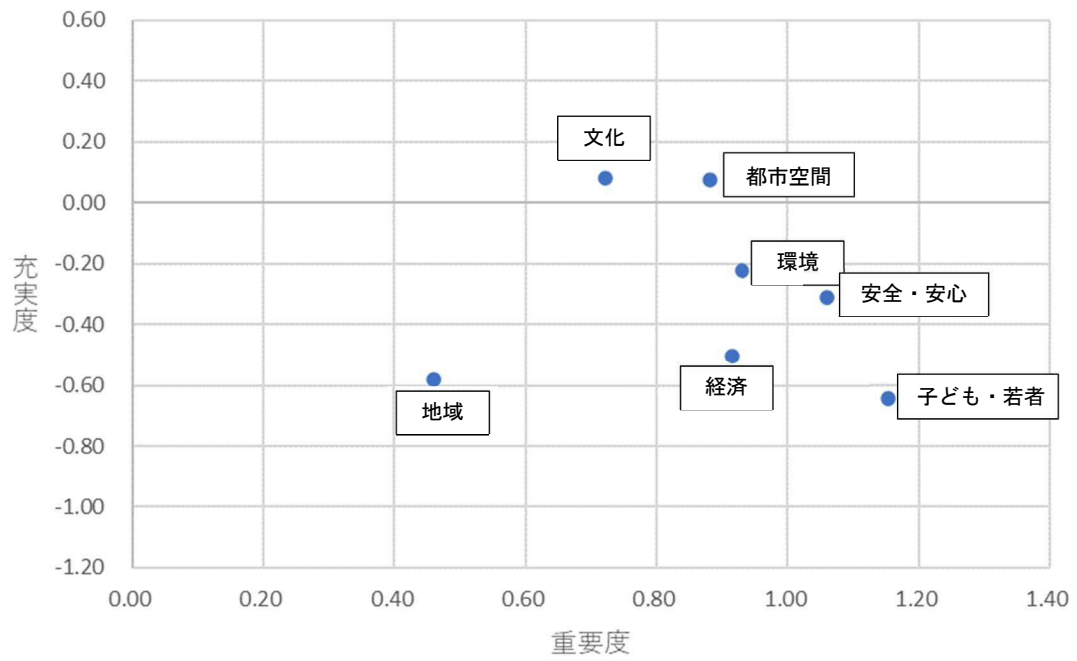
分野6 文化



分野7 都市空間

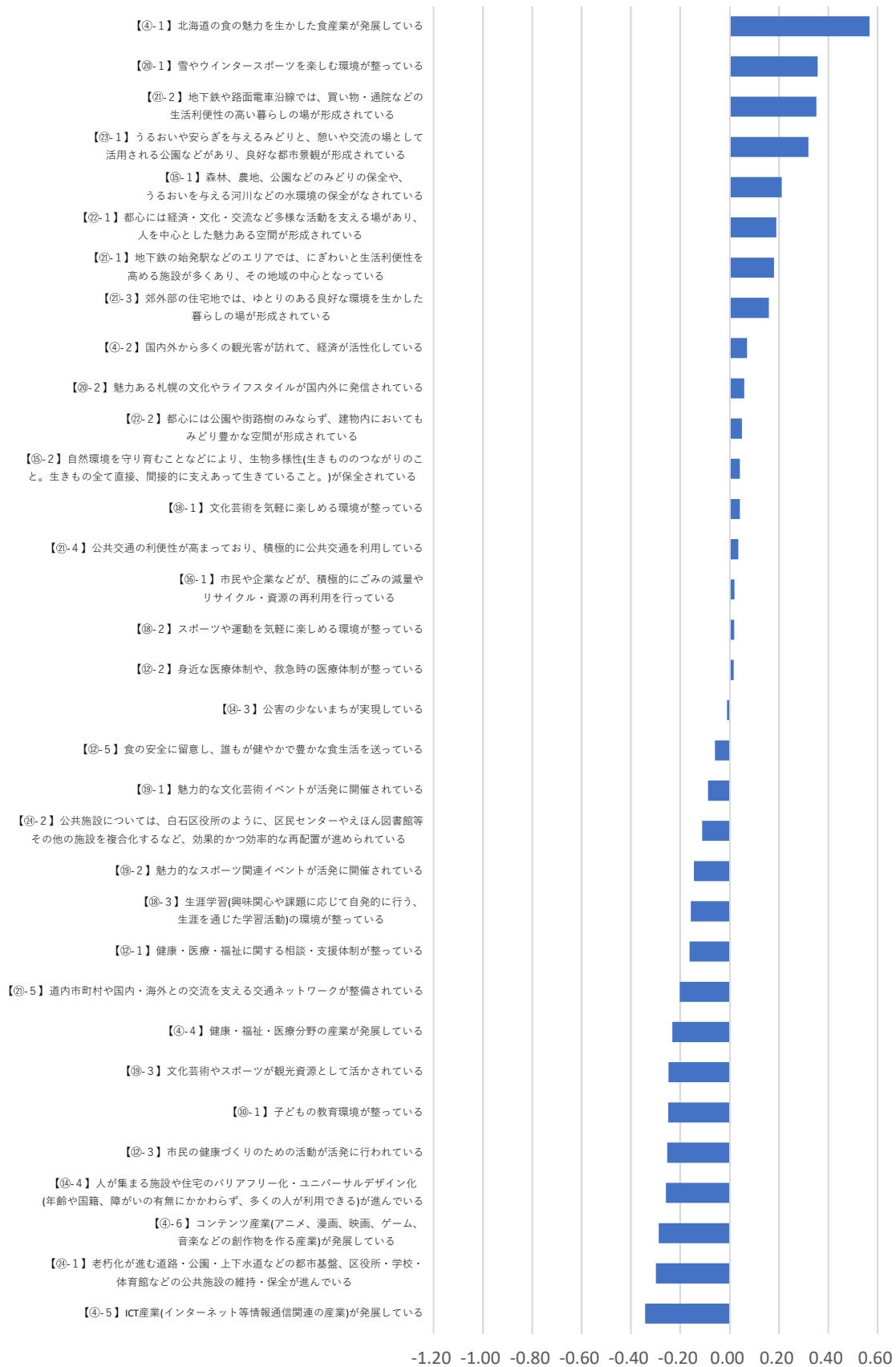


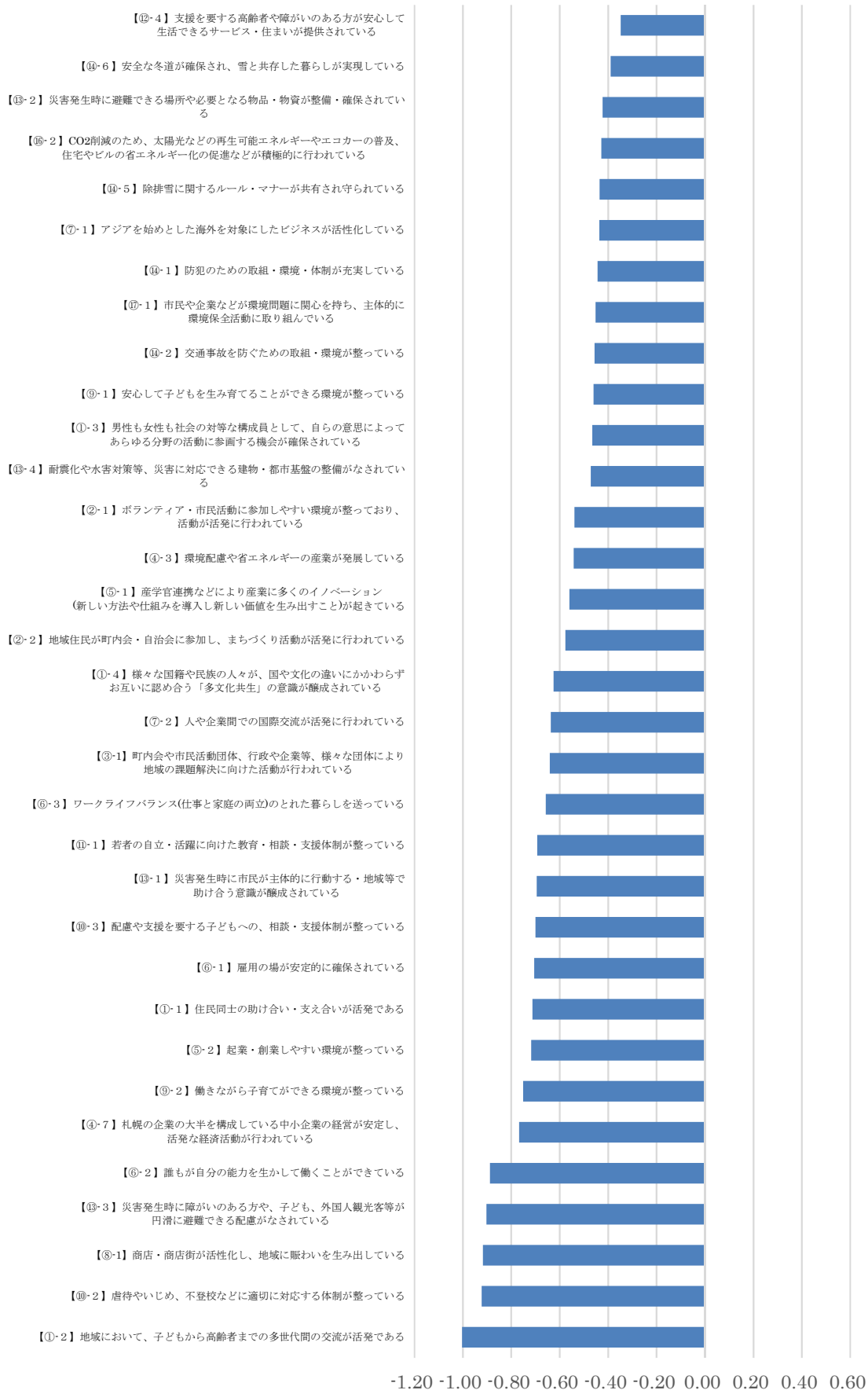
各分野の総合的な取組状況の比較



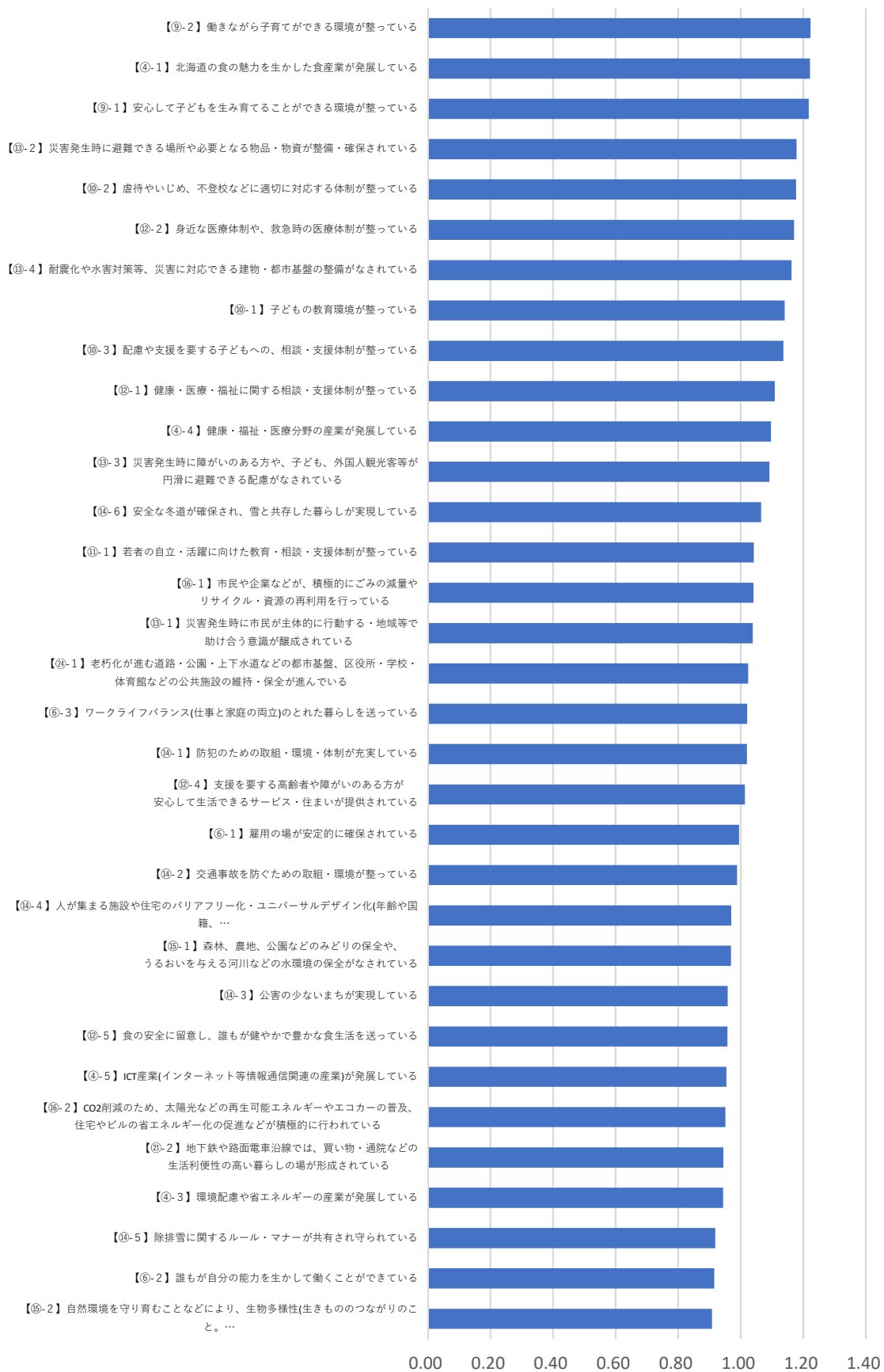
加重平均値のグラフ

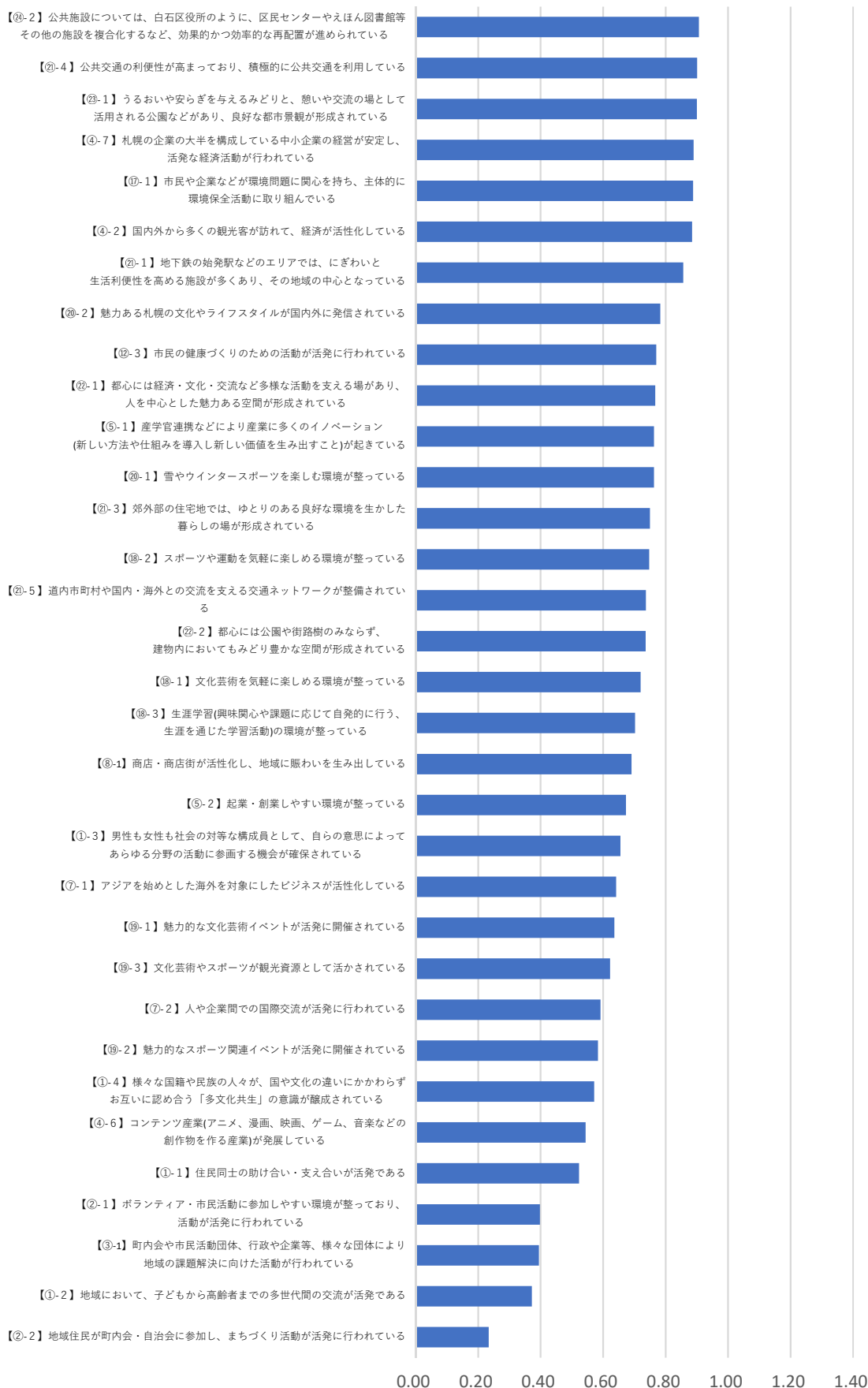
【現在までの充実度】





【今後の重要度】





4. 札幌市のまちづくりについての意見

問2 自由記載において、今後の札幌市のまちづくりについて寄せられたご意見を内容に応じて分類している。また、そのうちの代表的な意見の一部を抜粋の上、分野ごとに掲載する。

なお、複数分野にわたってのご意見があるため、N と件数の合計は一致しない。

原則として記載された内容をそのまま掲載しているが、明らかな誤字等については、表現を修正している場合がある。

			N=1,159		
分野	意見の内容	件数	分野	意見の内容	件数
地域	地域・町内会	91	環境	自然エネルギー・環境	63
	多世代間交流	12		野生動物	26
経済	企業・産業・観光	84	文化	文化・芸術・スポーツ	40
	食産業	11		イベント	17
	ネット環境	5		オリンピック	39
	雇用・賃金	54	都市空間	公共交通	121
	外国人の移住・労働	14		地下鉄延伸	64
	国際化・国際交流	14		郊外部の開発・発展	55
子ども・若者	安心できる子育て・支援	127		公園・運動施設	71
	子育て中の労働	42		景観・建物・自然	71
	保育園・幼稚園・児童館	20		上下水道などの都市基盤	11
	一人親家庭	13		公共施設	34
	教育環境・学校設備	64	その他	まちづくり全般・札幌について	83
	いじめ・虐待	8		道内市町村の発展・連携	11
	子どもの医療・福祉	40		人口減少対策	13
安全・安心	若者への支援・定住	34		行政・税金など	74
	安全・安心	12		情報発信	37
	医療・福祉	29		市民の意識・意見	22
	高齢者・障がい者	71		新型コロナウイルス感染症	46
	災害対策	56		ペット	5
	治安・防犯	18		アンケートについて	41
	冬の対策	95		その他	37
	バリアフリー	18			
	道路・交通	88			

分野 1. 地域

- ・地域の支え合いは、理想は必要だが、地域にどんな人が住んでいるのかわからないし、皆がいい人とは思えず、用心してします。
- ・少子高齢化が進んでいる為、地域とのコミュニティ作りが大切になってくると思います。都市は弱いと思っていますが、近所付き合いがセーフティーネットになってくる時代だと思います。
- ・企業と地域の協力体制が強化されて住民1人1人まで恩恵がいきわたるようになったら素晴らしいと思います。
- ・子どもが地域内の学校(小・中)に通っている間は、保護者として地域内の大人同士の関りは多少あったが、学校を介さなくなると、平日の日中は仕事でほとんど家にいないこともあり、地域との関りは希薄に…。しかし自然災害も増えている昨今、有事の際には地域住民の協力は不可欠であると思います。何年かに一度でも地域住民が参加しての避難訓練等があれば、多少顔見知りも増え、つながりもできるのでは。(20年ほど同じ所に住んでいますが、そういったものがあったという記憶はありません)。
- ・最近、集合住宅から戸建てへ引っ越しましたが、地域コミュニティが子育て世代を必要としているのはわかっていながら、付近の防犯面に不安があり、積極的に関わるのが怖いです。防犯面がしっかりすれば、地域とのつながりももちやすいのかなと思います。
- ・町内会の活動は、どうしても高齢者中心で進む実情がある。若い人も参加して意見の交流が出来る環境を作ることにより住みやすいまちづくりが実現できると思う。
- ・町内会の役職が一定の期限で回ってきますが、業務が多く高齢者には無理な感じがします。ボランティアの精神に頼るのは限界と思われ、市として専門職を雇うべきと考えます。
- ・私の住んでいる地区では町内会のつながりがあまりないです。以前からの住民と新しい住民の間に考えの差があるからだと思います。公園の掃除には参加しないが、運動会には参加して賞をもらって帰るという若い年代の人と、町をきれいにしようという老年の世代とで差があり、仲良くありません。残念です。地域とのつながりは大切だと思える発信がなにかしらあったらいいなと思います。
- ・今後、災害が起きて避難した時、人と人の助け合いが一番大事だと思うので、年齢関係なく老若男女でもっと交流を増やした方がいいなと思います。

- ・「地域」に関して、今後、益々高齢化が進むことになり、住民同士、町内会活動に支障が生じることが考えられる(例えばゴミ収集場所の当番制)。したがって、行政による取り組み、負担が必要になってくると思われる。
- ・回覧板をなくしてメールにしてほしいです。町内清掃も町内会費を活かしてシルバー人材センターなど外注にしてほしいです。
- ・まずは、小さいところで町内会や子供会のありかた。時代と共にもっと若者世帯と老年世帯が共通の在り方を考えるべきだと思う。
- ・高齢化によって町内会の活動が難しくなっていると思います。中には若者の参入で活性化している町内会もあるようですが、個々の町内会で変えていくのは難しいと思うので、高齢化でもうまくやっていけるアイデアを発信してくれる、またはそのアイデアを実施するモデル地区などを作って実験してみるなど必要ではないかと考えます。
- ・昨今、町内会における超高齢化が進み、現役が70代以上となり環境によっては、90代の方も関わっている。後任を探すにも、65歳定年やそれ以降まで働けるようになっており、ボランティア活動にまで気が回っていない状況かと推測します。また、小学校中学校PTAなどにおいても共働きが進み、ボランティア活動から遠退いている環境があり、団体の維持ですら危ぶまれています。解決は簡単ではありませんが、まちセン機能の拡充など、将来に向けて検討してほしい。
- ・地域活動は、小学生以下の子どもとシニア層だけでなく、中高大学生年代が自分たちの意思でやりたいことを実現できたり、子育て世代（未婚者も含む20～40代）が役割を押し付けられず気軽に参画できたりするような仕組みが欲しい。地域＝町内会＝面倒くさい、という構図を脱するための取り組みが重要。
- ・市民が安心・安全に暮らせる環境を整えることが最も重要だと思う。様々な年代の人が顔を合わせる機会が増えること、そして市民が札幌市の取組を知る機会があると良いと考える。
- ・個人情報保護法施行以降、人との繋がりが希薄になりつつある中、コロナにより更に人が集まる機会が激減しています。小学校を中心とした幅広い世代の交流場の運営にはとても期待しています。これまでも町内会と小学校PTAとの共同イベントなどありますが、より気軽に日常的に関われる場面があるといっそう地域との繋がりを感じた生活ができると思います。

分野2 経済

- ・アフターコロナでどうなるか分かりませんが、市民の関心は経済だと思います。グローバルな経済が発展するようなまちづくりが必要だと思います。
- ・水道や農業などは民営化などにせず今まである良い環境はそのままに残し、維持して欲しいです。海外の企業への委託などはできるだけ無くし、市民の皆で良い住環境を維持していける都市にしていければとても良いと思います。
- ・東京の出先機関の集積都市ではなく、札幌から発信する産業・文化を創り上げる必要があると思います。
- ・札幌で学んだ大学生が道外に職を求めて行かずに済むように理系の会社を誘致したらいいと思う。(大人になると男女比が逆転してた気がする)
- ・海外依存ではなく、国内内需型にシフトしなければ、衰退するだけです。札幌だけでなく、日本全体が貧困化しているため、民間企業は資本主義に乗っ取った合理的判断で自分の身を守るため、海外(特に中国)に依存する形をとっています。
- ・観光都市の魅力を更に発信して経済を活性化するまちづくり。
- ・観光する場所のクオリティーをもっとあげた方がよい。テーマは面白そうなのに実際に行ってみると内容に力を入れておらずがっかりすることが少なくない。
- ・札幌のみならず北海道全体にいえることですが、海外の企業や外国人観光客に頼らず、国内旅行者を増やす経済、観光の政策。中小企業が活躍できる場、廃業に追い込まれる前に救済、支援する制度。
- ・インバウンドに頼った経済政策はやめた方がいい。
- ・食物がおいしいので、食文化に“力”を入れる。世界食の祭典は失敗におわったが、考え方は正しかった！
- ・ICT産業の発展が最優先課題だと思います。北海道の平均年収は低すぎです。今後ますます拡大するであろうICT市場をターゲットに、経済の底上げをすることを期待します。

- ・海外では Wi-Fi 環境が整っているときいています。日本は大手 3 社キャリアの特権的考え方、ネット環境が出遅れていると思います。
- ・定年退職後の事を考えると、とても不安です。経済的な面もそうですが、退職後の再就職先が、今の札幌では限られてる事が不安の要因です。
- ・雇用について。自分は聞こえが悪く両耳が難聴です。転職の時には毎回採用されません。障害者手帳の取得も出来ず、私の様に苦勞している人が沢山いると思います。今後の生活を思うと不安です。誰もが安定した仕事につきたいのは当たり前の事。もっと札幌市は頑張してほしいです。
- ・雇用に関しては、もっと休暇がとりやすくなってほしい。休暇がとりやすくなるよう、職員数が増えても企業にとって負担にならない工夫がほしい。よく休み、よく遊び、そしてよく働くことで、経済もより活発になると期待しています。
- ・働き方が古い。改革してほしい。中小企業が昭和の感覚です。東京から引っ越してきて札幌で何社かで働いたがどこも遅れている。テレワーク等も進んでおらず、これでは人が関東で働くと思う。人を集められるよう助成などしてほしい。
- ・市民の雇用が安定されれば経済的貧困もなくなり安心安全な生活につながると思う。札幌市だけでなく北海道の最低賃金などをみても関東都心に比べて給料低すぎ。
- ・女性が働きやすい環境づくり。
- ・外国人が今後、働き手として増えていくだろうが、そのサポート体制が充実することを願う。土地を外国に売るのは不安があるが、財政の充実のためには仕方ないのかなとも思う。札幌含む北海道全体として、今後もより農産物等、食品の生産を向上し、自給率が下がらない、上がるようにと願う。
- ・日本在住の外国人人材がもっと活躍できる仕組みがあると良いと思う。北大の留学生が数多くいるにも関わらず、多くは母国に戻るまたは東京など大都市で就職してしまうのがとても勿体ないと思っていた。札幌で就職した知人は受け入れてくれる企業を一般の日本人大学生の就活と同じように探して就職していたが、外国人雇用に対してハードルを高く感じている企業が多かったようで、マッチングに時間を要していた。能力の高い人が多いのに、受け入れ体制が整わなければ札幌で活躍してもらうことができなくてとても残念。
- ・国際交流の活発化(姉妹都市とのオンライン交流授業、中高生の派遣など)。観光 ICT の充実化。

分野3 子ども・若者

- ・子育て世帯が住みやすい街になってほしい。子供が安心して遊べる、学べる環境を増やして欲しい。公園を増やしたり古い公園をキレイに整備したり。今よりもっと子供たちを皆で守って大切にできる市民・街になったら素晴らしいと思います。
- ・子育て中の夫婦はほとんど共働きが多いのが現実です。子供の預け先はもちろん、職場の理解が低い場合もあり、子を育てる家庭では安心して預けられる環境を得ることはとても難しいです。働かなければならない理由があるのにもかかわらず、子供が熱を出すたびに早退しなければならず、職場には頭を毎回下げ、子供がいる=迷惑だと考える人も一定数います。そんな中ではストレスがたまる一方になりやすいです。子供たちは大きく成長し、今後は社会を支える大切な役割を担う事になる存在です。この子育てがしにくい環境では子供の数は減っていくでしょう…安心して働ける環境がほしいです。
- ・子育てしやすい環境と、支援の充実。認可外保育園が増えすぎている様に感じる。もっとのびのびと過ごせる環境が望ましいです。病床保育がなく働くことに大変苦労しました。
- ・若者が道外から出なくてもいいような魅力的な道内独自の取組み。子供が赤ちゃんのうちから働ける環境作り(日曜日は保育園が休業で困っています)。安心して子育てできる環境整備等望みます。
- ・子育て世代なので、考えることは「子どもの安全」が一番です。通学路の整備や危険な道路、危険な運転、特に高齢ドライバーの事故など、心配なことは沢山あります。そのため自分の仕事もセーブして、と考えるりもしますし、安心して自分たちが仕事をし、生活するためにも子どもの安全をお願いしたいと思います。
- ・子育てを1人でしています(シングルマザー)。きんサポ、子サポさんを利用させてもらいありがたいですが、もう少し安価だと私にはとてもありがたいです。公共施設のバリアフリー化(ベビーカーつらいです)。
- ・安心した子どもの環境。児童会館が小学校から遠く離れた場所にしかない所があるので、小学校を併設するようにしてほしい。
- ・近年、小学校から英語学習が取り入れられ始め、英語学習の重要性が高まりつつあります。札幌都心等で留学生等との英語を使ったコミュニケーションの場があると、英語学習者としてうれしいです。学生の一人暮らしへの支援があるとうれしいです。

- ・教育環境は良いほうだと思うがレベルを上げていったほうが良いと思う。学力向上の基礎を小学校から高めていくには指導者が重要だと思う。
- ・教育環境整備について。近年夏季の最高気温が 30 度を超える日が続いていきます。このような中子供が通う学校にはクーラー設備がありません。先日参観日で学校へ行きましたが、教室内の温度は 34 度でした。扇風機から送られる風は熱風で何の役目もはたしていません。水筒を持たせるなど学校側も工夫してくれていますが子供たちは本当につらそうな顔で学習を進めていました。先生によると毎日 10 人近くの児童が暑さにより体調を崩し早退するそうです。今後もこの暑さは続くと思われます。学校が安心安全ではない環境にあることが残念です。沖縄よりも最高温度の高いこと珍しくない今早急に学校へのクーラーの設置をお願いしたいです。熱中症による、死者が出てからでは遅いと思います。
- ・将来を担うこどもの健やかな育みを目指すのであれば、様々な課題があると思うが、教職員の仕事内容について見直すべきであると思う。現在は、授業以外にも生徒指導や保護者対応、家庭訪問など仕事内容が多岐に渡り、当たり前のように残業が強いられ、且つ残業代もないような状態。その現状によりブラック企業扱いで、なり手は少なく、現場はさらに疲弊し、本来行うべき教材研究なども十分に行えない。そんな中でも、さらに個別のニーズに对应していかなければならないような方針になっている。このように余裕のない教職の現場から、将来を担う子どもが健やかに成長できるはずがないと思う。教職員の職場環境の整備を切に願う。
- ・小学校の通級を充実させてほしい。中央区で通級のできる学校がない。特別支援学級のない小中学校があり、教育の幅を広げてほしい。ICT も物があっても使いこなせていない。休業中の貸し出しをしてほしい。コロナ濃厚接触者となり貸し出しを希望しても個人貸出しルール整備が途中で使えなかった。
- ・子供のいじめや不登校など増えてきているので、しっかりした知識を持った先生が必要。子供の気持ちを理解できない先生も多く(自分の価値観だけ)、学校を頼ることができない家庭も多いのでは？先生が出来ないのであればスクールカウンセラーのように専門家を配置した方が良い。
- ・子育て家庭ですが、発達障害児の支援が薄く感じます。デイサービスは無数にありますが、海外と違って特性を伸ばす支援の相談支援が全くありません。数年探して模索していますが、役所やデイの方も「わからない」の返答です。専門機関が出来てくれればと願うばかりです。社会生活を送れるようにしてあげたいと困っている人は思う程以上にいると思うのですが…。

- ・ いじめや不登校やひきこもりなどの支援や相談などの窓口をもっと増やしてほしい。悩み苦しんでいる人々が多いと思うから。
- ・ 多くの大学受験生が、道外へでてしまう理由の一つとしては道内の大学が少ないことが挙げられると思います。コロナ禍でもオンライン国際交流を行なうなど、積極的な活動があると嬉しいです。
- ・ 若い世代の安定した生活環境、育児や教育など、様々な方面からの支援が必要と考えます。次世代を引き継ぐ者達が意識の高い思考を持ち連帯、協力して生きて行く事が国や世界を好転していく力になると思います。

分野4 安全・安心

- ・ 分野4の「安全・安心」の取組み(状況)を第一優先に向上させることがすべての分野の充実度アップにつながると思います。
- ・ 清田区に住んでいて、夜間に体調が悪くなった時に夜間急病センターが遠いので、特に雪などは苦勞します。子育て中なので医療が充実してほしいです。
- ・ 医療・健康のさらなる発展を望んでいます。「救急安心センターさっぽろ」は本当に助かり、困っていたとき以前お世話になりました。コロナ禍で受診をためらい、でも不安な人たちの支えともなうと思うので続けてほしいです。オンライン診療が可能な病院が増えると助かると思います。土日夜間の病院のあり方も変わってくると良いなと思っています。救急当番病院はありますが、混雑し、また具合の悪い人が行くのに遠い事もあります。以前、高熱の乳児に預けられない幼児を連れてタクシーで病院へ行きました。待ち時間は長く、大変でした。今、少し遅くまであいている病院、日曜日でも診療してくれる病院もあり、ありがたいことですが、まだまだ少ないと思います。土曜の午後、日曜あけてくれるところがあれば、平日は他の病院に行くので、その病院は平日休みにしてもらってかまいません。病院に行きたい人が行きやすいまちになってほしいです。
- ・ バリアフリーにもよりいっそう力を入れて取り組んで障害者がもっと社会で活躍できるまちづくりをしてほしい。
- ・ 独身の老人が孤立しない社会体制を作してほしい。

- ・高齢者または支援を要する高齢者が安心・安全な環境を保たれる様なまちづくりをお願いしたいです。ネット社会において様々な情報の伝達など、高齢者にとってわかりやすい環境を作ってほしいと思います。
- ・高齢者が健康な生活を維持して行く為(外出の奨励)の敬老パス制度を維持し続けていたきたい。
- ・障害者への補助が少ない。知的障害者への就職支援に期待。
- ・災害時にそなえて飲料水の貯蔵とか、地下鉄の地下道の利用、シェルター、備蓄食料、生活用品も大きな箱モノの建築物を造るときはそういう抱き合わせも考えていいのでは。停電になったらアウトという状況は絶対にさけるべき。
- ・災害時の犬などの動物に対する配慮がなされているととても良いと感じます。南区は他の区に比べ、大型犬を飼っている方も多いので。
- ・災害時のマニュアルについて、具体的なものを回覧板などで回してほしいです(できれば各家庭に配布)。現状では被災者が避難した際に被災者同士でどのように行動すれば良いかわかりません。例えば、物資がどこにあって、どのように配布すべきなのか高齢者や子どもにはどのような配慮が必要かなど。各々ができる役割が具体的に分かれば、誰かがやるかまでは決めておかなくても、住民が自ら手を挙げて行動することで、スムーズな避難生活ができると思います。災害が起きた時に能動的に行動できるよう住民も心づもりをしておくべきだと思います。また防災訓練などで実際に地域住民が避難所に集まって避難体験ができれば良いと思います。
- ・北海道胆振東部地震を体験して、あの地震がもっと寒い季節に起きていたら考えると震える程怖いです。もっと被害が拡大したと思うからです。今、色々な自然災害が起きていますが、冬季の災害にも強いまちづくりが重要だと思います。それと少し中道に入ると電灯が暗くて、夜は見えづらくてこわい思いをしました。防犯、交通事故を防ぐための取り組みをどうか早急をお願いしたいと思っています。
- ・災害が起こった時の対策が最も大切だと思います。高齢者や障がい者、外国人への配慮はもちろん。ハザードマップを市民が見る機会を増やす工夫が必要です。
- ・生活に対する不安や絶望から犯罪が増えてくると思われる。それを未然に防ぐ、防災や将来に対する不安を醸成しない社会が望まれる。
- ・治安の良い地域と悪い地域の差が激しく、その両方の地域で暮らしたことのある人はそのことを分かっているが、良い地域しか知らない人たちは危険な場所が市内にあるとい

う認識が薄く、市内ですら格差を感じる。この格差が埋まれば、自然体の教育や防犯のレベルが上がって、より暮らしやすい街になるのではないか。

- 道のまがり角の除雪をしっかりとしてほしい。全然雪で道路同士の境目が分かりません。対向車が来ているか確認がしにくいです。事故が多くなると思うのでしっかり除雪してほしい。ただただ高く雪を積みあがった状態で除雪しても、道の幅は広がりますが、曲がり角はとても見にくいし、車が来るかどうか分かりにくい。
- 除排雪(特に排雪)は回数を増やすべきだと思います。交通事故にいつあうか、またはあわせてしまうかいつも不安です。
- 冬の除排雪、特にバス路線などは除排雪を徹底する等、渋滞をなくしてほしいです。
- 雪の時期に排雪できるようにバス通りだけでも排雪溝があると良い。
- 除排雪について。スクールゾーンであるにも関わらず、信号機手前の角に雪山があり、こどもが登ったりしている。ドライバーからは登下校の子供の姿がよく見えず危ない。大きな交差点の角に雪山があると、車やバスが思う様に進まず毎回困る。
- 除雪がきちんとされているところとされていない所の差が激しい。ある程度お金を使って整備してほしいです。雪が降っているあるいは雪が積もっている月が1年の大半を占めています。暮らしやすい冬を作っていけたらと思います。
- バリアフリーが重要だと思います。地下鉄や階段や、歩行の段差などがとても不便に感じます。少しの段差でも足の悪い私には今とても不便さを感じます。
- 車椅子やベビーカー、視力障害等様々な市民が安心して外出できる環境。
- 路上停車が多く自転車が通行しづらいので、自転車の通行路の整備を行ってほしい。
- 自転車や歩行車の交通マナーの改善が必要と考える。無点灯やスマホを使いながらの自転車が、危険だと感じる事が多い。歩行者もながらスマホで周りを見ていないことや、信号無視してとびだしてくることが多い。
- 長い道路が続く道に歩行者の信号がかなり少ないと感じる。結果的に道路を渡ることになる。高齢者の危険運転が多い。
- ガードレールを増やしてほしい。国道や通学路など(東京都に比べると少ない印象)。

分野5 環境

- ・資源を有効に利用しつつも、CO2削減など近々の課題を解決することがまちづくりと市民の幸福度を上げることに繋がっていくと思う。
- ・持続可能なまちづくりを目指すことで、SDGsの目標を達成し、そのことをPRすることで街の魅力を発信していけると良いなと思います。
- ・野生動物との共存。最近、熊・鹿などの出没が多く、不安である。安易に殺処分するのではなく、森林の整備、ゴミ問題に取り組んで欲しい。個人的には東日本大震災の核のゴミを受け入れてもよいのではないかと考えている。
- ・温暖化が進んでいて、緑をもっと増やすと良いと思います。夏場、街中とか公園にドライミスト設置すると良いと思います。
- ・省エネルギー・省資源の観点から、住宅地の郊外への発展を抑制し、空き家を含めた従来市街地の活用を図るべきである。住宅やビルの省エネルギー化は設備に頼るのではなく、断熱や気密性を高めるべきである。
- ・北海道や札幌市の家でも太陽光パネルを付けれるようにして欲しい。個人で付けるには高額すぎて付けられない。そうすれば停電になったときでも安心していられる。又その様にすることで原発も不必要になる為将来の子供達にも安心安全でいられる。
- ・エネルギーの確保(電力確保)について、小規模の火力発電と再生可能エネルギーをうまく組み合わせ電力確保していく事を希望します。事故が起こると取り返しのつかない原子力発電に頼らずCO2排出の少ない日本の火力発電を小規模でたくさん作り稼働していくよう札幌市でも取り組みができたらと期待しています。
- ・都市開発には脱炭素の取り組みを積極的に取り入れ、さすが北海道、さすが札幌と日本国内でのお手本になる自然環境を守る街となって欲しい。そこから経済が回る仕組みも欲しい。
- ・クマが街の中及び人の居住地、生活する場所全てにおいて出現しない環境を整えること、私は厚別区厚別中央のJR、地下鉄札幌駅から徒歩数分のところに住んでいるが、今までにりす・キツネ・鹿をこの界限で目撃した。次はクマかと思うと恐ろしい。

分野6 文化

- ・多様な文化を相互理解するために、もっと異文化同士が交流することのできる場や、イベントがあれば良いし、参加しやすいようになるともっと良いと思う。
- ・札幌国際芸術祭への市民の参加率が低く感じるので、開催の必要性から考え直していただきたいです。開催するならば、市民割などを導入し、市民に還元してくださると嬉しいです。
- ・芸術については、近美はあるが、建物が古い。つまらない。芸術の森は、環境はいいが遠すぎる。都心にワクワクするアートのスポットをつくってほしい。
- ・文化芸術に関して、札幌市はかなり他の都市から遅れていると思う。美術館が少ない上、イベントなども少ない。文化芸術に触れる機会が少ないと、関心も薄れるので、積極的に市で企画を催してほしい。折角この環境のいい自然の中で素晴らしい北海道のアーティストがいるのに勿体ない。
- ・イベント会場は楽しい催しが沢山ありますが、駐車料金がかかったり、スペースがなかったりします。北海道では移動に車が必要であり、気楽に参加するには無料の駐車場を完備することが大切だと思います。行きたくてもわざわざ駐車料金を支払うとなると「行かなくてもいい」となり、消極的になります。
- ・札幌ドームの充実した利用法(活用)。野球環境を考えて、もう屋外はだめでしょう。円山球場は公園にする。高校野球春夏秋を行う。日本ハムが北広島へ行ったあと、札幌ドームの使用密度の問題(コンサートだけ、サッカーのみ使用)。高校野球の甲子園を札幌で行うなんて考えもおもしろいかも…。
- ・札幌にもっとスポーツイベントの招待を。積極的に受け入れるべきだと考えます。
- ・既存の施設を最大限活用した札幌市の懐にやさしい冬季五輪誘致。
- ・今回の東京五輪のように大きな赤字を抱える可能性が何かの問題に依り生じる事もあるので冬季オリンピックは反対です。
- ・冬季オリンピックはメリットに比べリスクが高いので是非再検討をお願いします。その予算を地域のスポーツ活動に充当してほしい。

分野 7 都市空間

- ・地下鉄、路面電車、JR、バスといった公共交通機関の有機的な連携活用を誘導しながら、都心部の私用車交通を極力排除し、歩行者空間を積極的に創出することで、世界から注目される特徴あるまちづくりをすすめてほしい。
- ・地下鉄や区民センターへのアクセスとしてミニバスなどで住宅地を循環する交通がほしい。
- ・高齢社会で高齢者が運転するのをおさえていかなければならないが、公共交通の料金がやはり高く感じます。若いうちから公共交通を使いやすくすることが、住みやすい都市計画の大きな要と感じます。環境悪化予防のためにも大事だと思います。
- ・道営住宅等の設備の充実・老朽化の手直しをしてほしい。区によっては病院・商業施設・住宅のバランスがくずれつつあると思う(距離的なものも含めて)。南区は公共交通が少なく、料金もかかる。もっとバス網を増やしてほしい。地下鉄延伸や、市電のようなものも増やすとか。南区は全体的に年齢層が高めで車の運転にも限度がある。
- ・地下鉄沿線の距離を延長して、もっと札幌市中心部に行きやすい環境が必要。路面電車と違い赤字の補填も出来る。路面電車より利用客数が見込めるはず。
- ・地下鉄が東西南北に通っていて便利そうですが環状線がないので不便です。集約型にするなら税務署も中心部にしてほしい。確定申告に行くのが大変です。
- ・公共交通機関の利便性が悪い。札幌市なのに地下鉄沿線でなければ不便が多いので車の利用が多くなっている。南北線の真駒内より南の地域へ地下鉄を伸ばすとか新札幌からJR 森林公園まで地下鉄を伸ばすと、もっと利用客が増える。バスの乗り継ぎも利便性が悪い上に高いから利用したがない。バスしかない不便な地域は札幌中心部までバス1本で行けるようにすると高齢者も利用しやすい。
- ・清田区にも地下鉄延ばしてほしいです。バスの本数も少ないので結局車で移動になってしまいます。
- ・交通機関も、地下鉄を延伸するなどして、札幌市郊外に住んでいる人が生活しやすいようにしたら良いと思う。
- ・地下鉄を手稲区(本町)まで延長していただきたい。手稲本町周辺がどんどん寂しくなっている。

- ・清田区には地下鉄が延びないためバスでの移動になりますが、国道は本数が多いのですが、市道のバスは1時間に1本ほどしかなかったり、朝、夜、通勤に使えないのが残念です。車がないと不便な区です。
- ・財源の問題があるので難しいと思いますが、地下鉄の延伸を検討いただきたいです。地下鉄が通っていない地域の方が札幌都心部に通勤する場合は車不可な会社ですと現状バスしかありません。交通規制等があると通勤に支障が出てしまいます。
- ・地下鉄、JRにおいて、一般人が優先席に座っており、マタニティマークをつけていても譲られないことが多々あり、車移動を決意しました。人があたたかくなることを期待します。
- ・南区に病院(総合)が少ない。地下鉄駅開発をもっとしてほしい。地下鉄延長もお願いしたい。
- ・地下鉄真駒内周辺の居住環境は20年以上暮らしているが、最近人口が減少傾向にある。周辺の自然環境も含め、色々な設備(スーパー、病院、他公共施設等)が充実していると思うが、なかなか人口増加が進まない。もっとPRすべきではないか？
- ・今は市の中心ばかりが発展し、そこだけみればすごく環境が整っている様に思われるが、そこ以外は全然整っていません。もっと外側に魅力あるものをもってきてもいいのではないのでしょうか。
- ・清田区にももう少しお金を使ってくれと嬉しいです。中心部ばかりにかたよっている気がします。
- ・家にいる時間が多い今、運動の楽しさ、重要性がとても大切だと思います。バスケットなど、気軽に運動ができる公園、例えばストリートバスケットやテニスコート、トレーニング遊具のある公園が非常に大切だと思います。
- ・大通公園のような、外でゆったりとくつろげるスペースが各区にあるといいと感じます。
- ・大通り公園のトイレを整備してほしいです。雪祭りの通訳ボランティアで初めてその不甲斐ない、国際的な町として情けなさ、恥ずかしさを感じました。オリンピックは過ぎてしまいましたが、きれいな札幌のイメージを崩さなく、地方自治として考慮して頂きたいと申し上げます。

- ・公園でボール遊びが禁止され、できないのがかわいそうです。ボール遊びができる場所を、徒歩圏内、学区ごとくらいの近さに設置してほしい。もしくは、ボール遊びができるように、既存の公園へフェンスを設置するなど、対応をお願いします。子供が外で遊ぶ機会を減らして、発達によくないと思います。
- ・誰もが無料で安心して利用できる公共のスペース・施設を設置すること(民間の有料化施設にゆだねることに反対です)。
- ・傷んだ木々の植え替えや緑の多いゆたかな空間。下水道の掃除など。クリーンでゆとりが感じられる緑の多いうるおいある環境。
- ・古い建物を壊さず残すようにしてほしい。耐震も必要なのはわかりますが、新しくすれば良いというものではないと思います。
- ・自然を取り入れた室内環境を大切に、北海道らしさの演出をつねに考えたまちづくり。
- ・町中にゴミが落ちていることが結構目立ってしまっていると思う。もう少しゴミ箱を設置してもいいと思う。
- ・利便性を求めるあまり、自然が失われるのはよくないと思います。新しい道路の整備などは特に自然や近隣住民の住環境に配慮していてもらいたいです。
- ・都市基盤の老朽化への対策。防災対策にもつながるものだと思う。ずっと安心して暮らせるベースが整っていてほしい。
- ・各区での再開発は重要ではあるが、闇雲に新規の施設や商業ビルを建設するのではなく、地域に根差した既存のモノを生かす、取り入れるといった調和のとれたまちづくりをしてほしい。
- ・現在の施設配置は、公共施設と公共交通網が整合していないため、施設を十分に活かせていない(札幌ドーム、つどーむ、コンベンションセンターなど多数)。積雪寒冷地の高齢社会において、幅広い年齢層が、安全にかつ快適に移動、活動できるまちづくりが重要だと思う。

その他

- ・札幌市への一極集中の改善。周辺の町と連携し都市圏を作ること。
- ・北海道の中心となる札幌市は道内各地の市町村と連携して発展を支えていく発信地としての役割も果たすべきではないかと考えます。一極集中しすぎると結局札幌市自身の機能も伸び悩むことになるのでは。
- ・市民一人一人が、もう一步札幌や北海道で行われている産業や魅力に興味をもつことが大事だと考えている。道外や世界へ向けての取組にプラスして、市民に向けた様々なジャンルの情報発信も必要かと思う。
- ・都市のビジョンを以前より前面に押し出して示すことが効果的だと思います。福岡市を訪れた際にアジアのリーダー都市を目指す同市キャッチコピーやシンボルアイコンが街路や民間バス会社の車体など至る所に掲出されており、市民への浸透を図る姿勢がみられ、札幌市の参考になるのではと感じました。男女共同参画や多文化共生、LGBTQ施策などでは、市民の意識が追いついていないように感じます。行政としてのアクションには先進的なものもありますが、その意義や問題構造を理解している市民が少ないために効果が薄れてしまうのが残念です。ぜひ啓発事業を拡大することで取組の深度化をめざしていただきたいです。
- ・今回の私を含めてですが、転勤などで札幌市へ居住している者は、まちづくりに関する取り組みがどのようなものか分かりづらく、戦略ビジョンや24の基本目標を初めて知りました。まちづくりを自分のことのように当事者としてとらえ、協働できる意識作りが必要だと感じました。
- ・市民をまきこんでのまちづくりができると興味・関心が強まると思う。なかなかその点について自分で気づくことが少ないので、情報発信してくれると、札幌市の魅力に気付くきっかけになると思う。
- ・ペットに対しても優しい環境を提供してほしいです。犬などを飼っている人は多いけれど、犬が入ってはダメな公園、エリア、施設ばかりです。ドッグランなどを作ってエリアを分けるという形でもあると活動の幅が広がります。ルールが大事かとは思いますが。
- ・ペット(特に小型犬)の散歩をする際の法令(条例)整備を心から願っている。散歩中とかまわずふん尿をさせるのは「生きものを大切にしている」からか？排雪は飼い主が「自宅で」責任もって処理させる。外でふん尿させる行為自体に罰則を早急に設ける。ペット業界・飼い主を教育すべき。

